

春夏 spring - summer  
2021

vol.  
**27**

# 春風新聞

shumpu shimbun



春風社

Shumpusha Publishing Co., Ltd.

〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘 53  
横浜市教育会館 3F

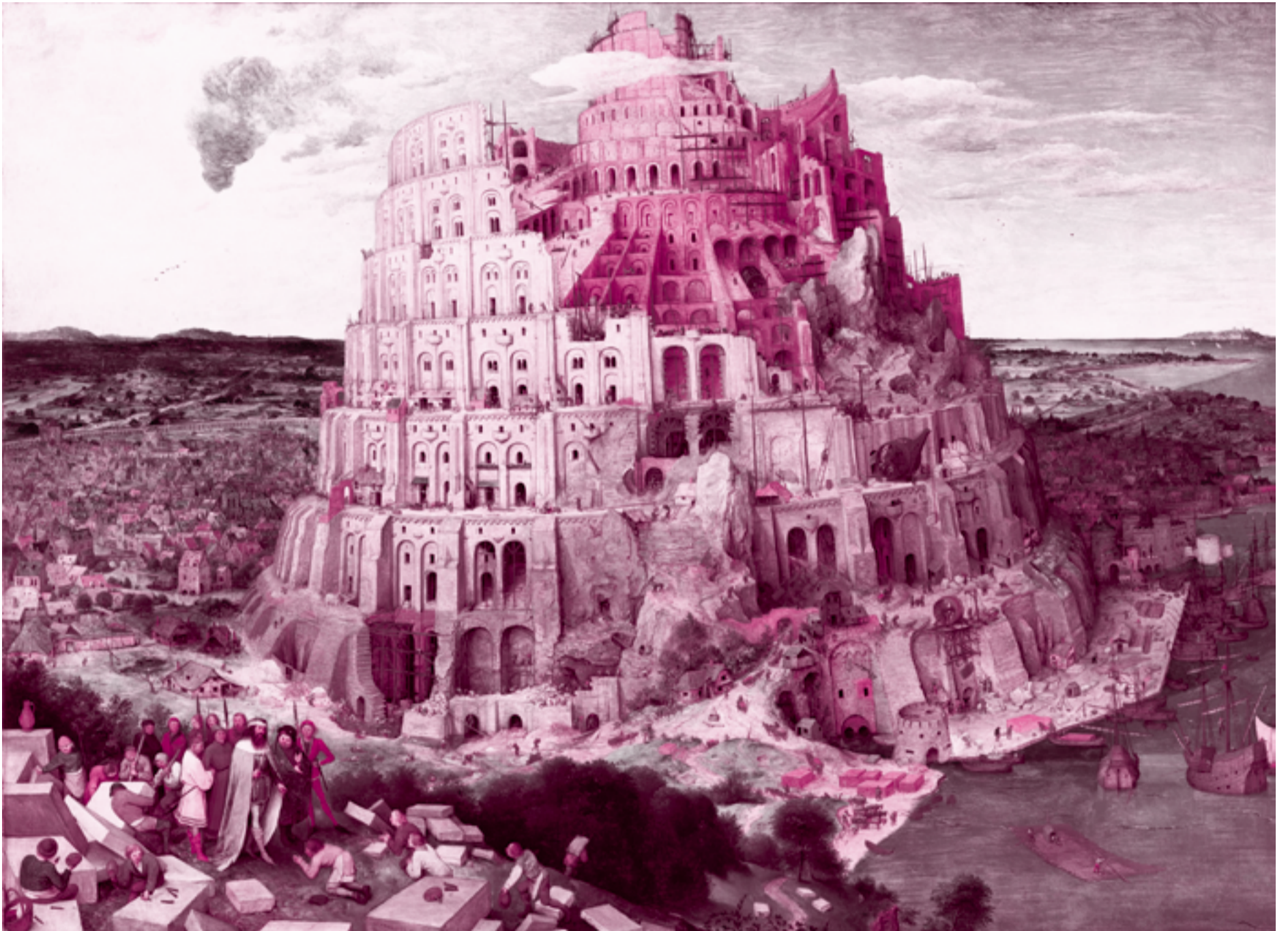
TEL (045)261-3168

FAX (045)261-3169

www.shumpu.com

✉ info@shumpu.com

【図書目録】 哲学・思想・宗教 4 / 文芸評論 5 / 文学 6 / 写真・音楽・芸術 7 / 観光・環境・自然 7 / 総記・辞典・事典 8 / 横浜市立大学新叢書 8 / 立教大学人文叢書 8 / 東洋英和女学院大学社会科学叢書 8 / 言語 8 / 教育 9 / 社会・歴史・政治 10 / 人類学 11 / シリーズ来たるべき人類学 12  
【連載】 日々の風 暮らしのなかの哲学 長谷川宏 4 / 翻訳ピンチ! 中条省平 6 / 帰ってきた mini 大河 しりあがり寿 7 / 英文学にデコピン 阿部公彦 8  
コ・プレゼンスの時代へ 吉原直樹 9 / ポストモダンの処方箋 白井聡 10  
【コラム】 春風接人 12



相敬して遠立すべし

ことば 『新井奥達著作集』5巻 297-298 頁

『おうすいポケット 新井奥達語録抄』168 頁より

絵 ブリュエール『バベルの塔』(1563年頃)



# ミエニカラ

吉原直樹  
(社会学者)  
×  
三浦衛  
(春風社代表)

# 都市をめぐって

## 都市は喘いでいる

側立つ者のそれではない、ということ意識しています。

「翼」を広げる

三浦 例えば『コミュニティと都市の未来』の「障害者とコミュニティ」を読むと、先生のそういう立場が読み取れます。

Sさんとダウン症の息子さんのK君が、横浜の郊外に引っ越してきた。毎年の自治会の落ち葉拾いでK君がしたことのエピソードなのですが、これは驚きました。またこの後に、日をおいて、ここに住んでいる人たちの対応が微妙に変化してくるというところが面白い。

吉原 郊外住宅地における障害者と地域社会の話になると、「障害者を排除している」という議論になりがちです。でも、従来語られてきたものとは違う視線が必要で、通俗的な「差別」「包摂」「排除」という話ではないんです。既存のものの見方を超えた、ある種の、瞬間のエピソードみたいなものがある。それが郊外の物語になり得る。そういう物語はあちこちにいっぱいありますよ。

三浦 そうでしょうね。「異端の社会学徒」と「ただの人」との往還」のあと、第四節で「翼」を広げること」と書かれています。「これからどういふふうによつていくのか」という時、SさんとK君のエピソードと重ねて読むと、見えてくるころがあります。

『社会学の学び方・活かし方』を読んで、私にとつての都市とは何かを考えた時に、松本大洋の漫画『鉄コンクリート』を思い浮かべました。シロとクロという少年が主人公で、二人とも空を飛べる。舞台は昭和の義理人情を尊ぶような町で、地上げ屋がいて、町の開発が行われよ

「汝の村」への記憶にゆさぶられながらも、いまはとりあえずそれを歴史の筆筒にしまっておこうと考えている」という一文がそれです。

自己了解と専門書

吉原 まず「カタカナが多い」ということにお答えしますと、好んでそうしているわけではなく、日本語にしようとして意味が通じないことがあるからです。私が最初に師事した先生はアメリカでの研究生活が長い方で、もとの言葉を日本語にするという意味の乖離が生じるということをよく仰っていました。

もう一つ、こういうこともあります。外国の学問を研究するには難解なことでもとにかく一生懸命考えないといけないので、その時にできるだけ原書に立ち返って考える方がいます。そういうなかで、「これは日本語にしてしまおうとかえって分からな

い。だったらカタカナのままにしよう」という習慣が結構残っているんです。ただ、これは今の教育現場では難しいかもしれない。なぜかというと、学問をめぐる大学の状況が変わってきているからです。「一生懸命考えて、分からなかったら原書に立ち返ろう」という態度は、今は通用しにくい。とにかく「分かりやすく見えてこない駄目だ」という傾向がある。それはそれでいいと思うんですが、やはり学問・研究には「な

かなか見えてこないものに対して一生懸命取り組む」ということがひとつありますね。文献に向き合いながら「時代をどう読むか」「どういふふうにより自己了解していくか」が大事だと思っんです。

三浦 「自己了解」について説明していただけますか。

吉原 テキストを読みながら、自分が今どういう社会に位置しているかという現在性を確認していくことで、そうすると、どうしても再帰的・自己反省的に見つめていかないとけない、その往還がなければテキスト・クリティックにならない。そういう経緯ではあえてカタカナを使ってきました。

もつとも、どのように表現・表象していくかはこれから大きく変わっていくだろうとは思いますが、私が出してきた出版社のなかには倒産した会社もあります。専門書のあり方、受容のされ方が変わってきたんでしょね。大学院生ですら専門書よりは教科書を読むようになってきています。

三浦 僕は専門書を読む時は分厚い本を読むように心がけています。分厚い本は総じて注や文献が充実しておりたつぷり説明してくれるので、素人でも時間をかけると分かる。ところが新書のようにコンパクトだと、ざっと目を通すには短時間で済むけれど、「理解」ということになると逆にものすごく難しい気がしま

ない。ファストフードを食するようにならなければならない。ある程度の厚さが必要だと思っいます。

ところで、「異端の社会学徒」と「ただの人」との往還」についてお伺いします。

吉原 「ただの人」は、柳田國男のいう「常民」に近いと思います。ですがそれを「常民」と言ってしまうとバイアスが生じるから、「ただの人」として使っています。そういう点では、私は専門知を盾にしてそれを展開するというよりも、むしろ「ただの人」のローカル・ナレッジとどこで交差していくのかをずっと考えてきたし、今も考えています。

三浦 この本（社会学の学び方・活かし方）の最後に「団塊世代の社会学形成史がもし不毛でないとするなら、それは無数の「ただの人」の多重化する視線によつて裏うちされているからであろう」と書かれています。先生は団塊世代ですよ。

吉原 はい。少し補足しますと、この本の執筆者は五人です。私以外は正統派の方々なので、本書の執筆依頼をされた時、私は他の方々とはかなり違いますよとあらかじめ言っておきました。正統派だけでやっていくと、正統派自体が維持できないんですよ。やはり周辺とか異端を取り込まないと正統派でいられない。私は紛れもなく異端ですが「正統派に組み込まれていないじゃないか」と評されることもあります。非常に中途半端なところがあります。ただ、私が持つている視座は、社会を統合する

二〇二二年二月十四日、横浜市教育会館にて、『都市科学事典』総括監修者であり『コミュニティと都市の未来』の著者でもある吉原直樹氏をお招きし、春風社代表の三浦衛と対談しました。その模様をお伝えします。

異端の社会学徒として

三浦 吉原先生の原著『コミュニティと都市の未来』（ちくま新書、二〇一九年）の他、先生が訳されたジョン・アーリ『モビリティーズ』（作品社、二〇一五年）『未来像の未来』（作品社、二〇一九年）、宮崎洋司訳の『ジエイン・ジェイコブズ都市論集』（鹿島出版会、二〇一八年）を読みました。最初に読んだ時、カタカナが多くて難しい印象でした。これらの本で使われている単語は辞書的な意味だけでは理解できないことがあり、それが難しさの原因のひとつではないかと思っいます。

ですが二回、三回と読み込んでいくと「どういう学者がどういう意図で、こういう用語を使っているのか」が見えてきて、少しずつ雲が晴れていくように感じました。

先生が二〇一一年に出版された共著『社会学の学び方・活かし方』（勁草書房）で「最初には賀喜左衛門先生のような村落の研究を志していた

が、有賀先生が別の大学に転出したことをきっかけとして、村でなければ都市もあると考えた」と書かれています。今回は先生ご自身のことや都市社会学の魅力についてお話を伺いたいと思っいます。

先生は一九四八年生まれで、これまで「移動」された場所としては、徳島、東京、仙台、横浜ですね。『コミュニティと都市の未来』のなかで「移動のあり方が変化し、ますますワークシェアが進んでいくだろう」と、コロナ禍の前の時点で、未来の予測をしておられる。

社会科学というのは、都市社会学に限らず、「これから社会がどうなっていくのか」という未来予測としての側面も大きいと思っますが、そのことを改めて考えさせられました。本書について法政大学の中筋直哉先生が書評されています。

吉原 『日本都市社会学年報』に載つたものですね。

三浦 一九八六年に先生が出された『都市論のフロンティア』（有斐閣）が中筋先生にとつて衝撃的だったそうで、「私は思考を、座り込んで積み木を集め、磨き、積むようなものだと思っ込んできたのだが、氏の思考はそうではなく、理念と現実、評価と批判、古典と新説、地方と海外、といった異なる次元をたえず往還する動的なものなのである」と書かれ

ています。理論と実践を行き来するものでかえって難しく感じることもあるのかもしれないが、『社会学の学び方・活かし方』と重ねて読むと、それは意図してなされてきたことだと分かります。

この本に収録されている吉原先生の論考タイトルは「異端の社会学徒へ／から」です。「異端」となると、春風社としてはこれを見逃すわけにはいかない（笑）。「学術書とは大学出版会がつくる本だ」とうがった見方をされる方もいらつしやるなかで、むしろ「在野で学術書を出していく、ふつうの人の感覚で学術書を読み議論していけるような本をつくるべく」ことが大事ではないかと思っいます。

旅人よ  
汝は汝の村へ帰れ  
郷里の崖を祝福せよ  
その裸の岩は  
汝の夜明けだ  
あけびの実が  
汝の靈魂の如く  
夏中  
ぶらさがつている

西脇順三郎の『あむばるわりあ』の詩の一節を引きつづ先生は文章を綴つておられますが、そのあとに「異端の社会学徒」は反戦世代でもある。

三浦 先生が二〇一一年に出版された共著『社会学の学び方・活かし方』（勁草書房）で「最初には賀喜左衛門先生のような村落の研究を志していた



吉原直樹氏

ここでいろいろ考えていると、原民喜にぶつかった。廃炉産業などの新しい産業で復興しようとする動きもありますが、それは「大文字の復興」であり、もう一つの復興の形、すなわち「小文字の復興」もあるのではないかと考えています。被災者を支援する「運動」や「告発」だけでなく、被災者の寡黙さも捉える必要がある。そういう意味でいうと私は徹頭徹尾、鄙の側の人間だと思えます。

都市の多様性

ただし「東北だから」とかを強調するような内に閉じられたものではなく、外に翼を広げる形で伝えていくことが大事なのではないでしょうか。

吉原 ジェイン・ジェイコブズも「都市の多様性」と言っていますが、「新しい近隣」の持つ寛容性が大事だと思っています。例えば町内会のような日本の近隣にはいろいろな人がいます。お金持ちも、貧しい人も、宗教・宗派の違う人も、いろいろな階層からなるミックス・コミュニティですよ。『自立した個』でも、共同主義でもない、それらに通底するようなものを掘り出さないといいけないのではないかと考えています。

三浦 『コミュニティと都市の未来』で先生が何度か出されている「領域」でなく関係としての空間や「空間論的展開」は、今のお話とリンクしてくるものなんですか。

吉原 はい。ただ、共同主義になると、どうしても初めから領域的なものを設定しがちで、日本の戦前の経験からしてもそれは危ない。最初から領域ありきではないけれど、人が住むからには何らかの「生活の共同」を切り結んでいかなければいけなくて、そこで出てくる領域性は否定できない。新しく領域や区域ができる時に、それが何らかの形で継承されていく。しかもそれは意図的なものではなくて、「生活の共同」の中に人々の記憶があつて、どこか

でそういったものが継承されていく、ということだと思います。

三浦 先ほどお話しした「汝の村」への記憶にゆさぶられながらも、いまはとりあえずそれを歴史の筆筒にの箇所とも関わってきますね。

吉原 私たちは、戦争を含め歴史に対して反省的に向き合っていないから、そこにはならない。けれど同時に、そこ

にずっと留まるわけにもいけません。そういうものを再帰的に捉え返していくなかで新しい関係を切り結んでいかなければいけません。その時に大事なのは異端です。異端は再帰的な立場に立ち得るし、新しい段階にも進みやすいからです。正当と異端のダイナミクスは、正当と異端、中心と周辺という二分法的な捉え方を壊していくところにあります。

三浦 先生の卒業論文「日本資本主義論争における『時代と社会』」には「時代と社会」という言葉が含まれています。「時代と社会の中で自己了解する」という視点はずっと若い時からお持ちだった。

吉原 それは都市社会学と距離を置くことによつて見えてきている部分もあるかなと思います。どうしても都市社会学だけだと内輪の話になつてしまふ。他のディシプリンと交差させた時に、都市社会学の存在理由を強調するのはなくて、都市社会学はこういう広がりがあるんだと示すこと、都市社会学を再帰的に問い返しながらスケール・アップを考えることが大事です。そういうコミュニティケーションのなかで、自分にとつての都市社会学とは何かと問い直しています。付け加えていうと、他の分野の人が評価しないようなもの、目を向けないようなものは駄目ですね。

三浦 「春風と野」を標榜する当社にもありがたいお言葉です。「翼」を広げることの最初に「近年、アカデミズムの奏でる主音が全体として

内向きになるのにもなつて、知の世界が極度に「サークル化」しているように見える。こうした状況は、考えようによつては、アカデミズム／既成知が「根」をみつめなおそうとしていることの一つのあらわれであるといえるかもしれない」と批判的に書かれてあり、今のお話とすごく関連します。

吉原 そうですね。でもそういうことを聞きたくない人もいるんじゃないかな。耳障りのいい言葉だけを聞いたがついてくる。あらゆる分野にそういう傾向がある。だからそうなるのと、もつと外に出て、外の分野の人と交差していかないといけない。それで必ずしも自分が取り組んでいることが広がらなくてもいいんです。究極的には「自分の立ち位置を確認していく」ことが大事です。

三浦 そのようななか、当社から『都市科学事典』が発行できたのは喜ばしいことです（本紙8頁参照）。

吉原 都市というのはいろいろな知がそこで交わされていく場です。知がどのように交差しているのか、どういった新しい知をつくり出そうとしているのかを知ることは非常に大事です。研究者に限らず本書を手にする人は、都市に対する疑問を紐解くことによつて、それをまず知る、認識する、あるいはそのきっかけをつくることができます。

三浦 そうですね。事典を編集してきた山岸さんと岡田君は、これをどういうふうに使ってもらいたいと思いますか。

山岸 文系・理系にかかわらず、多分野の知識が集まっている事典です。歴史的な経緯や都市に関する考え方・思想、都市計画や「まちづくり」がどのように行われているのか」といったシステマ的な面も具体的に書かれていますので、都市にかかわるすべての方、特に都メソジメントに携わる方に読んでいただきたいですね。感染症や地震の項目もありますので、参考になることがたくさんあると思います。

吉原 理系の分野だけの都市科学だ

とこの事典の魅力は半減してしまうと思います。「思想」や「文化」が入っていることが大きくて、技術知の人、あるいは非常にテクノクラート化されたところにいる自治体の職員とか、そういう人が読むとすごい広がりが出てきます。これから時間が経つにつれて、その重みが増してくると思います。自然科学中心のものだとどどんクリアされていくわけですが、エンサイクロペディアの持つ本来の意味がこれで確認されるのではないかと思います。

岡田 この事典づくりを始めた当初、「情報が随時更新されるインターネットがあるし、断片的な知識なら検索すればすぐ分かる。なぜ今時わざわざ紙の事典を出すのか」という反対意見があつて、なかなか作業が前に進みませんでした。でもこうして紙の事典ができてみると、少し頁をめくることで知る・調べるつもりがなかつた情報にも接することができ

ます。予期していなかつた知との出会いが実現できる場として、紙の本で一冊にまとめることにはひとつの意味があると思います。

三浦 今は多くの情報が飛び交い、政治の世界をはじめ、言葉を取り消したり、言葉に重みがかつたり、誰も責任をとらないみたいな風潮があります。紙の本は物としてあるこ

とで責任を取らざるを得ない。「この事典ではそれぞれの執筆者がこういふふう」に発言しているじゃないか」ということがあるから、すぐに取り消すことはできない。『都市は揺れている』（東信堂、二〇二〇年）の彦江智弘先生（横浜国立大学教授、本書の編集委員のひとり）の文章に「都市は専門家の言説と実践によつてのみ占有されるものではない」といったことも書かれていますね。これがきっかけとなつてさまざまな対話が生まれてくる、そういう事典として使ってもらえればと思います。

吉原 いろいろな専門知が交錯する、そこで単なる総合知ではなくて、専門知が対立したりシンクロしたりして一つの知の枠組みができるのと同じに、専門知とローカル・ナレッジがインターネットフェイス（浸透）するところ

で出てくるような知がある。それは実践知でもあるわけですが、そういう意味でこれがどの程度可能性を持つているか。実践知とは一体何だろうかとか考える場合に、単に先ほどのように「異端だ、弾き飛ばせ」というのではなくて、そこで「誰が何を言っているのか」を耳を大きくして聞くことが大事ではないか。そういう中でこの事典の意味というものを考えてみたらどうかと思います。

三浦 ありがとうございます。

うとしてる。この漫画の最終章に、「ソコカラナニガミエル？」という言葉が出てくる。さらに「ヒカリガミエル？」「エメガミエル？」「ココカラハナニモミエナイ。」「ソコカラハナニモミエナイ。」「キボウモミエナイ。」「もう一回「ソコカラナニガミエル？」。最後に「ココカラハナニモミエナイ。」「しかし、最後の最後「ソコカラ ミンナガ ミエルヨ。」ここが泣ける。

都市のイメージは水平に広がるものではなくて、むしろ垂直に伸びるものだと感じます。学習院大学の中条省平先生は『鉄コン筋クリート』の書評で「背景となる都市空間の飛躍的な拡がりも指摘しておく必要がありませぬ。主人公のシロとクロはじめ、このマンガに登場する子供たちは自由自在に空を飛びますが、それが水平的飛行ではなく、ビル

の天辺から水底へ落ちるようにダイブし、また、恐るべき跳躍力で地面から空中へと撥ねあがるのです。この切れ味鋭いアクションによつて、猥雑に密集した都市空間が、一挙に垂直的に拡大されるのです」と書かれています。

私も子どもの頃に空を飛ぶ夢をよく見ました。最初は快適に飛べるんですが、だんだん麻痺してきて落ちてくる。そうすると地上のいろいろなところ、泥まみれなところだけ

やなくて、人間の気持ち悪さまで見えてくるような感じがしたもので

私

私は東日本大震災以降、福島の大熊町をずっと見えています。今でも九六%が帰還困難区域の町です。



三浦衛

# 哲学・思想・宗教



**スマホと哲学**  
岩崎大 (東洋大学東洋学研究所客員研究員)  
三匹目のカエルは、外の世界を知り、新しい世界に飛び出したものの、うまくいかず、不幸を感じて生きている。哲学は、すぐに役立つ便利な情報ではない。著名な哲学者の格言を引っ張り出すことでもなく、「よく生きる」ことを企図する作法とは。四六判並製・二四頁 定価(1800円+税)  
ISBN 978-4-86110-736-8

## カントとシュンカテシス論

福田喜一郎 (鎌倉女子大学教授)  
世界の構造、認識の対象がいかに成立しているのかという点ではなく、命題において表される知識とこれに対する心の関わり方を、「シュンカテシス(同意)」の諸局面の検討・その本性の探求を通して問う。四六判上製・三三頁 定価(5600円+税)  
ISBN 978-4-86110-713-9



◎各書籍の左下に¥で示している数字は税抜価格です。

**環境を批評するー英米系環境美学の展開**  
青田麻未 環境保護思想の高まりとともに始まった英米系環境美学の代表者であるカールソンを始めとする諸学説を批評理論として読み直し、常に我々を取り巻き変化し続ける環境に対する美的アプローチを考察する。  
ISBN 978-4-86110-698-9 ¥4000

**小鳥が歌うー古いホルトガル語による聖母マリアの詩** 菊地章太 (東洋大学教授) 中世イペリア半島の吟遊詩人たちによって作られた歌われた、ガリシア・ホルトガル語の詩「カンティガ」。詩の和訳と解説を通して、聖母に対する当時の人々の思いを汲み上げる。  
ISBN 978-4-86110-694-1 ¥3600

**16世紀後半から19世紀はじめの朝鮮・日本・琉球における「朱子学」遷移の諸相**  
片岡龍 (東北大学教授) 西洋近代由来の学術概念を超え、時代時代のさまざまな地域の思想家の思想的営為を丹念に読み解き、思想潮流の大きな変化を跡づける。  
ISBN 978-4-86110-681-1 ¥4400

**死ぬ権利はあるかー安楽死、尊厳死、自殺補助の是非と命の価値** 有馬斉 (横浜市立大学准教授) 人の死期を早めるふるまいを自身、家族、医療者がとることは許されるか。人の命が持つ価値の大きさと根拠を問い直し、倫理的・政策的な判断の基礎となる考えを提示する。  
ISBN 978-4-86110-624-8 三刷 電子版あり ¥4300

**論理学 はじめの二歩ーオイラー図とベン図で知る伝統的論理学** 菅沢龍文 (法政大学教授)  
ISBN 978-4-86110-738-2 ¥1300

**朝鮮儒学の巨匠たち** 韓亨祚 (韓国学中央研究院教授) 著/片岡龍 (東北大学教授) 監・廣瀬/朴福美 (韓国語教室主任) 訳 ISBN 978-4-86110-500-5 ¥5500

**「た人間である」が持つ道徳的価値ー相互に尊重し合う自由で平等な個人が築く民主主義** 浜野研三 ISBN 978-4-86110-636-1 ¥3500

**日本におけるイスラーム研究史ー中国篇** アリム・ト・ヘイ (東北大学助教)  
ISBN 978-4-86110-632-3 ¥4000

**キルケゴールの実存解釈ー自己と他者** 河上正秀 (筑波大学名誉教授)  
ISBN 978-4-86110-597-5 ¥3500

**深い河の流れー宗教多元主義への道** 長谷川 (間瀬) 恵美 (桜美林大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-604-0 ¥2200

**そこには何かあるー「この自分」が在るといふ不思議** 牟田隆郎 (元聖学院大学教授)  
ISBN 978-4-86110-612-5 ¥1800

**人間形成としての教養ーハンガリー、フィンランド、日本におけるドレークの理学的受容と将来展望** 高橋輝暁 編 ISBN 978-4-86110-596-8 ¥2000

**律から密へー晩年の慈雲尊者** 秋山学 (筑波大学教授)  
ISBN 978-4-86110-600-2 ¥5500

**カント伝 マンフレッド・キューン 著/菅沢龍文・中澤武・山根雄一郎 訳** ISBN 978-4-86110-479-4 ¥9000

**法華経経解[ハンガル語訳・法華経要解]上** 河瀬幸夫 (研究者)・金星周 (東国大学校教授) 訳 ISBN 978-4-86110-549-4 ¥6500

**法華経経解[ハンガル語訳・法華経要解]下** 河瀬幸夫・金星周 訳 ISBN 978-4-86110-577-7 ¥6500

**巫者のいる日常ー津軽のカミサマから都心のスピリチュアルセラピストまで** 村上晶 ISBN 978-4-86110-558-6 一刷 ¥3500

**哲学 はじめの二歩 楽しむ/働く** 立正大学文学部哲学科 編 楽しむ ISBN 978-4-86110-541-8 働く ISBN 978-4-86110-542-5 各 ¥1500

**哲学 はじめの二歩 全四巻 函入** 立正大学文学部哲学科 編 ISBN 978-4-86110-459-6 一刷 ¥3241

**鈴木大拙の「日本の霊性」ーエマヌエル・スウェーデンホルグ新井奥達との対比** 那須理香 ISBN 978-4-86110-554-8 ¥4500

長谷川宏

# 日々の風

暮らしのなかの哲学

## 22 ゴースト・タウン

新型コロナウイルスの感染者数がふえ、年が明けて首都圏に緊急事態宣言が出された一月半ばのことだ。

コロナ禍のもと、できるだけ普段通りの日々を過ごしたく思うわたしは、この日も西武線に乗って、かねて予定されていた池袋での夜の勉強会に出かけた。会館は大半の会議室に人の気配がなく、自粛ムードの広がりを感じたが、わたしたちの勉強会はいつも通りの顔ぶれがそろい、活発に議論をたたかわせることができた。

午後六時に始まって会が終わるのは八時過ぎ。いつもだとそのあと何人かが近所の飲み屋に寄って談笑するのだが、行きつけの店が閉まっていたためその場で解散となった。用もないのにぶらぶらと街歩きする習慣などまったくも合わさらないのに、異常な暗さと人通りの少なさに気をそられて、駅の周辺を歩いてみたくなった。

いつもならまだまだだ人のにぎわう時刻だが、前を見ても左右を見ても極端に人が少ない。店は大半がシャッターを降ろし、明かりが消えている。開いているのは十軒に一軒ぐらいだろうか。ビルの上のほうに明かりのとめる窓がぼつんと見えるが、そのさまがなにやら頼りなげで寂しげだ。

本通りをちよつと外れた裏通りは、ガラんとした薄暗い空間に四、五人のたむろする人影が一つか二つ見えるだけで。動きも声も小さく、まるで影絵のようだ。

しばらくあたりを歩くうち胸に冷たさを感じた。ゴースト・タウンということばが浮かんだ。ざらつとした皮膚感覚に気持ちが悪く着かない。胸の冷たさに耐えてしばらく立って、これはどうにもならない、都会の繁華街に暗く閑散とした空気はまったく似合わない、と思った。そう思うと、文字通りそこにはいたたまれなくなつて、足早に駅の改札口へと向かった。

電車はさほどすいてはいなかったが、さきほどの街路を思い出すと胸に冷たいすさまじい風が吹いた。かつて味わったことのない空間感覚だつたなと思ひ返された。

(哲学者)

## 新井奥達

**新井奥達著作集(1、4、10巻品切)**  
工藤正三(新井奥達先生記念会幹事)・コルダニエル(元福岡女学院大学教授) 共編 各巻 ¥5000

**奥達論集成**  
春風社編集部 編 ISBN 978-4-86110-424-4 ¥2700

**おうすいボケット 新井奥達語録抄** 三浦衛・コルダニエル 編 白表紙 ISBN 978-4-86110-454-1 黒表紙 ISBN 978-4-86110-455-8 各巻 ¥2200

**教えることの哲学** ジョン・パスモア 著/小澤喬 (東京理科大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-376-6 ¥4100

**姿を変えたキリストーみなし子を育てたシスターたち** 菊地章太 (東洋大学教授) ISBN 978-4-86110-475-6 ¥2200

**思想家としての石橋湛山ー人と時代** 山口正 (石橋湛山記念財団評議員) ISBN 978-4-86110-472-5 一刷 ¥3000

**徂徠と崑崙** 末木恭彦 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-494-7 ¥3500

**随想 西田哲学から聖霊神学へ** 小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-464-0 ¥3500

**エコ・ファンタジーー環境への感度を拡張するために** 山田利明 (東洋大学名誉教授)・河本英夫 (東洋大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-468-8 ¥3500

**越境する哲学ー体系と方法を求めて** 村上勝三 (東洋大学名誉教授)・東洋大学国際哲学研究センター 編 ISBN 978-4-86110-478-7 ¥5500

**死生学ー死の隠蔽から自己確信へ** 岩崎大 (東洋大学東洋学研究所客員研究員) ISBN 978-4-86110-438-1 ¥3982

**虚構の形而上学ー「あること」と「ないこと」のあいだで** 中村靖子 (名古屋大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-436-7 ¥3500

**リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション** 稲垣論 (東洋大学教授) ISBN 978-4-86110-303-2 三刷 ¥2381

**横超の倫理ーローティ、ハイエク、シンガポールを超えて** 谷口隆一郎 (聖学院大学教授) ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333

**直接知の探求ー西田・西谷・ハイデッガー・大拙** 松丸壽雄 (獨協大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-347-6 ¥4000

**〈文化〉の思想ー現代日本の位置から** 西欣也 (甲南大学教授) ISBN 978-4-86110-323-0 ¥2200

**犠牲と身代わりー記憶できないものをめぐる** 長田陽一 (京都光華女子大学教授) ISBN 978-4-86110-275-2 ¥2200

**心理臨床と脱構築の経験ー〈他者〉をめぐる** 長田陽一 (京都光華女子大学教授) ISBN 978-4-86110-345-2 ¥2400

**仮説法の倫理学ーポー・ハース・ハイデッガー** 村上隆夫 (群馬大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-309-4 ¥5600



# 文芸評論

## モダニズムの胃袋

ヴァージニア・ウルフと

同時代の小説における食の表象

大西祥恵 (同志社大学他非常勤講師)

ウルフを中心としたイギリスのモダニズム小説を通して、当時のイギリスの食文化を検証。ジェンダー、身体、アダプテーションなどの視点から、食の描写の重要性を示す。5編のコラムも収録。

四六判上製・三三六頁 定価(2700円+税) ISBN 978-4-86110-690-3



## ジェイン・オースティンのグロテスクな笑い

困った人たち

岡本由恵 (安田女子大学助教)

人間の愚かさや醜さを典雅なユーモアで包み込み、怒りを笑いに昇華させるオースティン。初期の作品群、中期の『高慢と偏見』、後期の『エマ』を取りあげ、それぞれの作品における笑いの性質とその変化を明らかにする。

四六判上製・三〇四頁 定価(3600円+税) ISBN 978-4-86110-731-3



## 異形のピューリタン

ジョン・ウィンスロップ・ジュニアとトラン

スアトランティック・トランザクション

佐藤憲一 (東京理科大学准教授)

イギリスとアメリカを股にかけ自らの知的好奇心のままに生きた知識人(ヴァーチュオーン)、ジョン・ウィンスロップ・ジュニアの活動を再評価。これまで見逃されてきた植民地期アメリカ文学の知的枠組の形成を跡付ける。

四六判上製・二二〇頁 定価(3600円+税) ISBN 978-4-86110-712-2

## ブルーロックの世界―T・S・エリオットの限りなく悩めるもの

遠藤光 (実践女子短期大学名誉教授)

エリオットの第一詩集『ブルーロック』とその他の観察』の全12篇と、同時期に書かれた3篇、計15篇の短詩を綿密かつ多角的に読解。疎外され孤絶した人間への愛と共感を胸に取る。

ISBN 978-4-86110-672-9 ¥4500

## スコットランド文学の深層―場所・言語・想像力

木村正俊 (神奈川県立外語短期大学名誉教授)

先端的研究の成果をふまへ、『オニオン詩』から現代までのスコットランド文学を展望。その特異な風土や文化を背景として生まれた、豊穣な詩的想像力の世界を照射する。

ISBN 978-4-86110-689-7 ¥3700

## American Measure: William Carlos Williams's Vision of Free Verse

吉田亞矢 (京都大学特任講師)

ISBN 978-4-86110-732-0 ¥5000

## 中世英語文学研究の多様性とその展望

菊池清明・岡本広毅 編

ISBN 978-4-86110-714-6 ¥8000

## 最強の男―三國志を知るために

竹内真彦 (龍谷大学教授)

ISBN 978-4-86110-702-3 ¥2000

## 個から群衆へ―アメリカ国民文学の鼓動

佐久間みかよ (学術院女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-663-7 ¥3400

## 神西清の散文問題

小林実 (十文字学園女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-667-5 ¥3900

## ホール・ホルズ 越境する空の下で

外山健一 (山口大学准教授)

ISBN 978-4-86110-683-5 ¥4500

## Shakespeare Performances in Japan: Intercultural-Multilingual-Translingual

浜名恵美 (筑波大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-657-6 ¥5500

## 救いと寛容の文学―ゲーテからフォークナーまで

今村武 (東京理科大学教授)

ISBN 978-4-86110-654-5 ¥3500

## めぐりあうテクストたち―フロンテ文学の遺産と影響

惣谷美智子・岩上はる子 編

ISBN 978-4-86110-629-3 ¥3500

## 村上春樹 精神の病と癒し

南富鎮 (静岡大学教授)

ISBN 978-4-86110-652-1 ¥2700

## 『バタソン』を読む―ウィリアムズの長篇詩

江田孝臣 (元早稲田大学教授)

ISBN 978-4-86110-645-3 ¥3500

## ジョイスの拡がり―インターテキスト・絵画・歴史

田村章 (金城学院大学教授)

ISBN 978-4-86110-625-5 ¥3500

## 未完のカミュ―絶えざる生成としての播らぎ

阿部いそみ (東北文科大学短期大学部教授)

ISBN 978-4-86110-623-1 ¥3700

## 翻訳とアダプテーションの論理―ジャンルとメディアを越えて

今野喜和人 (元静岡大学教授)

ISBN 978-4-86110-621-7 ¥3500

## D・H・ロレンスと雌牛スーザン・ロレンスの神秘主義をめぐるW・ティンダル著

木村公一・倉田雅美・小林めぐり 訳

ISBN 978-4-86110-627-9 ¥4000

## 揺れ動く「保守」―現代アメリカ文学と社会

山口和彦 (上智大学教授)・中谷崇 (横浜市立大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-609-5 ¥3500

## 黙って踊れ、エレクトラ―ホフマンスタールの言語危機と日本

関根裕子 (早稲田大学等非常勤講師)

ISBN 978-4-86110-637-8 ¥4200

## 非在の場を拓く―文学が紡ぐ科学の歴史

中村靖子 (名古屋大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-635-4 ¥4100

## アメリカは日本文化をどう読んでいるか―村上春樹、吉本ばなな、宮崎駿、押井守、芳賀理彦 敬愛大学准教授

ISBN 978-4-86110-605-7 ¥3000

## エミリー・ディキンソンを理詰めで読む―新たな詩人像をもとめて

江田孝臣 (元早稲田大学教授)

ISBN 978-4-86110-605-7 ¥3000

## アレコリーで読むアメリカ／文学―ジェンダーとゴシックの修辭学

武田悠一 (元南山大学教授)

ISBN 978-4-86110-569-2 ¥3500

## 『フィネガンズ・ウェイク』のプロローグを読む―「riverin」から「phenish」へ

奥田良二 (東海大学教授)

ISBN 978-4-86110-575-3 ¥3000

## 一人の詩人と二人の画家―D・H・ロレンスとニーメキンコク・メリル著

木村公一・倉田雅美・伊藤方子 訳

ISBN 978-4-86110-498-5 ¥4100

## 外見の修辭学―十九世紀末アメリカ文学と人の「見た目」を巡る諸言説

福井崇史 (國學院大学教授)

ISBN 978-4-86110-581-4 ¥4000

## グロテスク・美のイメージ―ドムス・アウレア、ピラネージからフロヘルまで

武末祐子 (西南学院大学教授)

ISBN 978-4-86110-588-3 ¥3200

## 文学という名の愉楽―文芸批評理論と文学研究へのアプローチ

寒河江光徳 (創価大学教授)

ISBN 978-4-86110-595-1 ¥2200

## 身体と感情を読むイギリス小説―精神分析セクシュアリティ、優生学

武田美保子 (京都女子大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-582-1 ¥2700

## 文学とアダプテーション―ヨーロッパの文化的変容

小川公代・村田真一・吉村和明 編

ISBN 978-4-86110-559-3 一刷 ¥3200

## 世紀末の長い黄昏―H・G・ウェルズ試論

高知大学准教授

ISBN 978-4-86110-550-0 ¥2700

## 松本清張の葉脈

南富鎮 (静岡大学教授)

ISBN 978-4-86110-557-9 ¥2700

## キャサリン・マンスフィールド―荒地を吹き渡る風のように自由

手塚裕子 (川村学園女子大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-553-1 ¥3200

## 文学都市タリン―ゆかりの文学者たち

木村正俊 (神奈川県立外語短期大学名誉教授) 編

ISBN 978-4-86110-518-0 ¥3700

## カホーティ小説の詩的特質―音と文彩

丸山弘 (九州国際大学教授)

ISBN 978-4-86110-521-0 ¥3200

## バルザックの文学とジェンダー―女性作家との比較から分かること

東辰之介 (駒澤大学教授)

ISBN 978-4-86110-533-3 ¥3600

## スコットランド、一八〇三年―ワースワス兄妹とコルリッジの旅

安藤潔 (関東学院大学教授)

ISBN 978-4-86110-529-6 ¥2700

## 帝国と文化―シエイクスピアからアントニオ・ネグリーまで

江藤秀一 (筑波大学名誉教授) 編

ISBN 978-4-86110-517-3 ¥3500

## 異文化理解とパフォーマンズ―Border Crossers

松田幸子・笹山敬輔・姚紅 編

ISBN 978-4-86110-499-2 ¥4500

## パブリック圏としてのイギリス演劇―シエイクソピアの時代の民衆とドラマ

中村友紀

ISBN 978-4-86110-501-2 ¥3000

## ペーター・フーヘル―現代詩への軌跡

土屋洋一 (元愛知大学教授)

ISBN 978-4-86110-481-7 ¥3200

## フィリップ・ラーキン―愛と詩の生涯

高野正夫 (駒澤大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-477-0 ¥3200

## T・S・エリオットの詩を解読する

滝沢博 (元高岡法科大学教授)

ISBN 978-4-86110-476-3 ¥2200

## 神奈川ゆかりの作家たち

最賀進 (S.A.I.G.A.ハフス代表)

ISBN 978-4-86110-462-6 一刷 ¥1500

## フロンテ小説における病いと看護

川崎明子 (駒澤大学准教授)

ISBN 978-4-86110-427-5 ¥3500

## 敗戦・憂国・東京オリンピック―三島由紀夫と戦後日本

洪潤約 (誠信女子大学校助教授)

ISBN 978-4-86110-463-3 ¥3000

## 美しき汚れ―アーサー・マンビーとウィクトリア朝期女性労働者の表象

吉本和弘 (県立広島大学教授)

ISBN 978-4-86110-442-8 ¥3000

## 中世英語文学―その言語・文化の特質

菊池清明 (関西外国語大学教授)

ISBN 978-4-86110-428-2 ¥4500

## 中世英語文学II―The Sound of Literature

菊池清明 (関西外国語大学教授)

ISBN 978-4-86110-488-6 ¥7500

## 秘密のラティガン―戦後英国演劇のなかのトランス・メディア空間

大谷伴子

ISBN 978-4-86110-448-0 一刷 ¥2700

## マーガレット・オブ・ヨークの「世紀の結婚」―英国史劇とブルジョア公国

大谷伴子

ISBN 978-4-86110-419-0 一刷 ¥2700

## 交錯する戦争の記憶―占領空間の文学

黄益九 (在日コリアン研究所)

ISBN 978-4-86110-422-0 ¥3300

## 名誉革命とイギリス文学―新しい言説空間の誕生

富樫剛 (フリスス大学院大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-412-1 ¥3000

## ジョージ・エリオットの異文化世界

高野秀夫 (駒澤大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-395-7 ¥3333

## トルストイと生きる

藤沼貴 (早稲田大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-385-8 ¥4762

## 戸籍の謎と丸谷才一

ソーントン不破直子 (日本女子大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-381-0 ¥1800

## 乱歩彷徨―なぜ読み継がれるのか

紀田順一郎 (評論家・作家)

ISBN 978-4-86110-284-4 一刷 ¥1905

## 作品は「作者」を語る―アラビアン・ナイトから丸谷才一まで

ソーントン不破直子・内山加奈枝 編

ISBN 978-4-86110-292-9 ¥2857

朝鮮神話の源流―「ハリ公主神話」と「タンクン神話」を巡って 金香淑(元目白大学准教授) ISBN 978-4-86110-313-1 ¥4500

永井荷風 ソライズムの射程―初期作品をめぐって 林信蔵(福岡大学准教授) ISBN 978-4-86110-222-6 ¥3619

アントニオ・タフッキ 反復の詩字 花本知子(京都外国語大学准教授) ISBN 978-4-86110-358-2 ¥2000

Beowulf 橋本修一(千葉工業大学教授) ISBN 4-86110-060-7 ¥2000

カスオ・イシグロー〈日本〉と〈イギリス〉の間から 莊中孝之(京都外国語短期大学教授) ISBN 978-4-86110-255-4 二刷 ¥2000

ラファティオ・ハーンとジェイムズ・トムソン『四季』をめぐって 先川暢郎(拓殖大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-285-1 ¥3333

新版 文学にひそむ十字架 小出龍太郎(元大阪芸術大学短期大学教授) ISBN 978-4-86110-354-4 ¥2800

小出龍太郎―光の憂鬱 小出龍太郎(元大阪芸術大学短期大学教授) ISBN 4-921146-34-9 ¥2200

英詩に魅せられ―エリオットからラーキンまで 堀田三郎・犬飼誠 共編 ISBN 978-4-86110-305-6 ¥2746

幻想と怪奇の英文学 II―増殖進化編 東雅夫・下楠昌哉編 ISBN 978-4-86110-516-6 ¥2200

幻想と怪奇の英文学 III―転覆の文学編 東雅夫・下楠昌哉編/ローズマリー・シヤクソン著/下楠昌哉訳 ISBN 978-4-86110-622-4 ¥2700

幻想と怪奇の英文学 IV―変幻自在編 東雅夫・下楠昌哉編 ISBN 978-4-86110-699-6 ¥2000



文学



ロバート・フロスト詩集 ニューハンプシャー 藤本雅樹(龍谷大学教授) 訳 20世紀アメリカ詩を代表する詩人の第4詩集『ニューハンプシャー』の翻訳。これによって、フロストは、ピューリッツァー賞を射止めた。四六判上製・三五頁 定価(4000円+税) ISBN 978-4-86110-715-3



学ゆりかご―母と娘のディスタンス 春風社編集部編 学問や出版を生業とする九名の女性が、自身の原点である「母」のこと、母娘の心的距離を思い思いに綴ったエッセイ集。装丁・挿画は南伸坊氏。 ISBN 978-4-86110-743-6 ¥1800

ゴマシ狂騒曲―旅する「小枝通信」より 堤小枝子 14年にわたるヨーロッパ転々生活と帰国後の田舎暮らしのなかで遭遇した日々の小さな事件や愛すべき人びとを、ドキリ、クスリ、ホロリと描く56のエッセイ集。 ISBN 978-4-86110-697-2 ¥1500

永遠なるカミノー フランス人作家による(もう一つの)サンティアゴ巡礼記 ジャン・クリストフ・リュファン著/今野喜和人(元静岡大学教授) 訳 コンクール賞受賞のベストセラー作家による、ユーモアと批評精神に満ちた稀有なサンティアゴ巡礼記。 ISBN 978-4-86110-674-3 ¥2500

鎌倉山奇譚 水琴窟の館 ソーントン不破直子 (日本女子大学名誉教授) 栄華のち荒廃した山荘をめぐって人と野の生き物たちが物語を展開する。「カローン」―記憶の淵をぐぐり、不思議い音の正体は?。 A5判上製・三八頁 定価(1500円+税) ISBN 978-4-86110-696-5

編 hadaha 三浦衛(春風社代表) ISBN 978-4-86110-610-1 ¥2200 荒地 T・S・エリオット著/滝沢博(元高岡法科大学教授) 訳・解説 ISBN 978-4-86110-649-1 ¥2900

説得されて ジェイン・オースティン著/藤田永祐(獨協大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-620-0 ¥2500 イブの娘 オノレ・ド・バルザック著/宇多直久(元滋賀大学講師) 訳 ISBN 978-4-86110-628-6 ¥2100

孤独な殿様 ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-617-0 ¥1500 詩集 時のなかに 北岡武司(岡山大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-616-3 ¥1800

翻訳ピンチ! 中条省平 SHOHEI CHUJO

ペストからの解放

この連載でもちょっと触れたことがあります。私はNHKの教育テレビの「100分 de 名著」という番組で、カミュの『ペスト』を解説しました。2018年のことでしたが、昨年コロナ禍が起こって、にわかに『ペスト』の先見性が話題となり、世界中でベストセラーになりました。私の解説した「100分 de 名著」も再放送され、前より話題を呼びました。そもそも私がこの番組に解説者として呼ばれたのは、学生時代からの友人、野崎敏さんのおかげです。野崎さんは、私が『ペスト』の新訳をしていることを知って、NHKのプロデューサーに私を解説者として推薦してくれたのです。つまり、私はコロナ禍が起こるずっと前から『ペスト』の新訳にかかっていたわけで、コロナ禍に乗じてこの本の新訳に手を出したわけではありません、念のため(苦笑)。新潮文庫版で100万部以上を売りあげた宮崎嶺雄訳の『ペスト』はざっと計算して400字づめの原稿用紙で700枚弱ですから、プロの翻訳者にとってはそんなに長い小説とはいえないでしょう。でも、

私にとっては最長の翻訳で、教師と評論家との三足のワラジを履く私にとっては大変な大物なのです。始めてから3年以上になりますが、まだ訳し終わっていません。いま言及した宮崎嶺雄訳は本当に立派な訳で、私もつねに参照しながら新訳を進めています。しかし、いかんせん、いまからもう70年も前に出た翻訳なので、古い語調は隠しようもなく、また、原文を横に置いて読めば分かるのですが、日本語訳だけではどうしても文意の理解が隔靴搔痒の感を免れないところが無数にあります。私は現代日本人の誰もがすんなり分かる訳文をめざしていますが、これがじつに難しいのです。しかし、ついにこの春休みで終わりそうです。『ペスト』で疫病が終息し、市の門が開かれるのは2月のある日、とされています。私の翻訳も2月中の終息をめざします。(仏文学者)



イラスト: たけなみゆうこ

古英語叙事詩『ベオウルフ』―クレイバー第4版対訳 吉見昭徳(明治学院大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-572-2 ¥4000 鐘の音が響くカフェで ポール・ヴァッカ著/田村奈保子(福島大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-606-4 ¥2500 トロイア戦争の三人の英雄たち―アキレスとアイアスとオテッセウス 川井万里子(東京経済大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-613-2 ¥2500

二つの季節 松永澄夫(東京大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-601-9 ¥1000 太陽と黄昏と夜 詩的風景 高野正夫(駒澤大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-589-0 ¥1800

バルザック王国の裏庭から―『リュシエリーの秘密』と他の作品集 宇多直久(元滋賀大学講師) 編訳 ISBN 978-4-86110-544-9 ¥2500 画文集 旅の貼り絵 安田彰(元甲斐細田大学教授) ISBN 978-4-86110-546-3 ¥1750

八月の瓜―母へ 彭学明著/立松昇一(拓殖大学教授) 訳 舟山優士(翻訳家) 訳 ISBN 978-4-86110-520-3 ¥2500

カメレオン 三浦衛(春風社代表) ISBN 978-4-86110-473-2 ¥2200 鎌倉三猫物語 ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-430-5 ¥1500

鎌倉三猫いまふたたび ソーントン不破直子 ISBN 978-4-86110-515-9 ¥1500 クリスマス・キャロル チャールズ・ディケンズ著/井原慶一郎(鹿児島大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-474-9 二刷 ¥1500

デテムシ 新美南吉詩歌集 石川勝治(長崎県立大学名誉教授)・斎藤卓志(民谷牛郎) 編 ISBN 978-4-86110-406-0 ¥1800 スウェーデン民話名作集 荻下紘一 訳 III ISBN 978-4-86110-339-1 IV ISBN 978-4-86110-368-1 各巻 ¥1905

いないも同然だった男 パトリス・ルコント著/桑原隆行(福岡大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-458-9 二刷 ¥1800 愉しみは最後に パトリス・ルコント、ダヴィッド・デカンヴァイル著/桑原隆行(福岡大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-418-3 ¥1800

エドワード・トマス訳詩集 吉川朗子(神戸市外国語大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-429-9 ¥2000 エルビー・メルゲンとセシの太陽―モンゴルのいつたえ集 塩谷茂樹編訳/Ya・パダムハンドラム執筆 ISBN 978-4-86110-338-4 ¥1600 お爺ちゃんとお砲 オタ・フィリップ著/北岡武司(岡山大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-446-6 ¥2500

人生の請求書 石橋幸子(春風社専務) ISBN 978-4-86110-410-7 ¥1300 カフェの女主人 レイモン・ジャン著/桑原隆行(福岡大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-356-8 ¥2200

詩集 邂逅 岩田澄江 ISBN 978-4-86110-324-7 ¥952 モーツァルトの息子 ジャック・トゥルニエ著/高井道夫(元上智大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-242-4 ¥2200

空にあがったハイエナー ケニア・キクユの民話 集 杜由木 ISBN 978-4-86110-301-8 ¥1600



一九四〇年代  
素人演劇史論

表現活動の教育的意義  
小川史 (横浜創英大学教授)  
明治・大正に民衆芸術として生まれ、昭和の戦時体制で用いられた素人演劇の変遷を検討。生活に根ざした表現による自他理解の様相を描き出す。  
A5判上製・三三六頁 定価(5000円+税)  
ISBN 978-4-86110-717-7



イタリア・宝塚・  
2.5次元

多彩な演劇世界をめぐって  
鈴木国男 (共立女子大学教授)  
イタリア演劇、宝塚歌劇、2.5次元ミュージカルという異なるジャンルを通して、演劇文化の蓄積を俯瞰し、つながりを探る。演劇の豊かさを再発見。  
四六判並製・三三六頁 定価(2900円+税)  
ISBN 978-4-86110-737-5



ナチスと闘った劇場  
精神的国土防衛と  
チューリヒ劇場の「伝説」  
葉柳和則 (長崎大学教授) 編  
亡命演劇人を起用しつつ焚書にされた作品の上演を続けたスイスのチューリヒ劇場。民主主義の象徴として伝説化された劇場における作品上演のプロセスを分析、その実態に迫る。  
四六判上製・四八〇頁 定価(4200円+税)  
ISBN 978-4-86110-719-1

しりあがり寿 mini  
大河 24  
変な本能寺



変な本能寺

明け方、京の町はずれ。軍勢の先頭に立つ男が叫んだ。「敵は本能寺にあり！」  
先鋒が飛び出し路地に入ったが間もなく引き返してきた。「行き止まりでした」  
都とはいえ、相次ぐ戦乱の後である。かつての整然とした街路は荒れ果て、通りも筋も入り組み複雑になっていた。  
「本能寺はどこだ？」  
「本能寺で検索しましたら、数か所ヒットしてまいります」  
側近の「なび」をたよりに本能寺に向かう。

それぞれ「本能寺」という名の炉端焼き、ストリップ、そして最後がうどん屋だった。  
「おい、はらこしえにうどんでも食べていこう」  
軍勢を待たせうどん屋に入ると早朝なのに先客がいた。  
織田信長その人である。  
「殿」  
「おぬしも朝うどんか？ うどんはしばらく待て。つゆの甘みの素が切れておっとな、今こちらに向かっているところじゃ」  
「と、い、い、い」  
「……みりんがくるー」  
「それだけではない、ワシは朝ふらりと本能寺を出てしまっって手ぶらでな……」

「銭もなし!!」

半分満たされたグラス ジャズとシグニファイ  
イニング  
椿清文 (津田塾大学名誉教授)  
ジャズのエッセンスであるアドリブ、メソジシティを、シグニファイイング(修正)から読み解く。素材の修正を楽しむ音楽がジャズだ。 ISBN 978-4-86110-741-2 ¥2400

石巻 2011.3.27 ~ 2014.5.29  
橋本照嵩 (写真家)  
ISBN 978-4-86110-414-5 ¥4500

カレワラ物語—フィンランドの国民叙事詩  
キルスティ・マキネン 著/荒牧和子 訳  
ISBN 4-86110-034-8 ¥1800

江戸の黙阿弥—善人を描く  
理忠美沙 (お茶の水女子大学教授)  
絵画資料を用いた画期的な研究方法により、これまで知られてこなかった江戸期の黙阿弥の作意や、黙阿弥作品の最良の演者であった四代目小団次の工夫を解き明かす。  
ISBN 978-4-86110-706-1 ¥4500

【新版】北上川  
橋本照嵩 (写真家)  
ISBN 978-4-86110-441-1 ¥3500

愛の叙事詩 ハルタイヤン物語 ミシエル・ゼ  
ヴァコ 著/鈴木博男 (神戸松蔭女子学院大学名誉  
教授) 訳 ISBN 978-4-86110-223-3 ¥2800

転生する物語—アダプテーションの愉しみ  
渡辺諒 (早稲田大学教授) 原作の魅力をうまく引き出し、時に原作を超えたおもしろさが発見できる翻案作品。古典・現代の七作品が、ミュージカル、宝塚、ハリウッド映画、劇団☆新感線など、ジャンルによっていかにも姿を変えろのか？ ISBN 978-4-86110-685-9 ¥2500

表家の京都—日本映画史における観光都市のイメージ 須川まり (追手門学院大学特任助教)  
ISBN 978-4-86110-537-1 ¥3000

魔法 山崎洋子 (作家)  
ISBN 978-4-86110-296-7 三刷 ¥1600

見る・見せる—中国四川・福建の表演にみる「演じる」と「人・空間」  
細井尚子 (立教大学教授) 中国の四川と福建の二つの土地における宗教的・民俗的儀礼や民間の演劇・芸能の考察から、それらを見る・見せている人々の生活、思考、感覚を探る。  
ISBN 978-4-86110-671-2 ¥4500

母のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-523-4 ¥1800

谷川健一 全歌集  
谷川健一 (民俗学者・歌人)  
ISBN 978-4-86110-104-5 ¥3800

本縁側  
矢萩多聞 (装丁家・画家)  
ISBN 978-4-86110-653-8 ¥2800

観光・環境・自然  
突撃！よこはま村の1000人—自転車記者が行く 佐藤将人 (神奈川新聞記者)  
ISBN 978-4-86110-316-2 ¥1500

失敗しないNPO—グラウンドワーク三島の20年とイギリスに学ぶ 渡辺豊博 (元都留文科大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500

ホベルト・ブルー・マルクスの庭にて  
ジャック・レナール 監修/荒井芳廣 (大妻女子大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-594-4 ¥3200

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

躍動—横浜の若き表現者たち  
細見葉介  
ISBN 978-4-86110-640-8 ¥1800

増補改訂 器としての身体—土方巽・暗黒舞踏技法のアプローチ 三上賀代 (京都精華大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-465-7 ¥3600

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

浅草 2011.2016—六区ブロードウェイ 日本人の肖像 初沢克利 (写真家)  
ISBN 978-4-86110-547-0 ¥7000

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

糸子ち  
吉住小三 (長岡吉住会)  
ISBN 978-4-86110-562-3 ¥1852

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

茶艶—我が師有馬頼底屋下 小堀宗慶御家元  
堀江添子 (茶心)  
ISBN 978-4-86110-567-8 ¥3500

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

石巻片影  
三浦衛 (春風社代表) 著/橋本照嵩 (写真家) 写真  
ISBN 978-4-86110-530-2 ¥2500

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

OTHE VOICES 東大全共闘・68-70  
平沢豊  
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

父のアルバム  
伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授)  
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

おはあちゃん！豚となって木に登る  
外川洋子  
ISBN

# 総記・辞典・事典



## 都市科学事典

横浜国立大学都市科学部 編

都市に関わる多分野の専門知を体系化・再編成し、経験知と融合させて実践的に活かすための事典。一〇の領域群に四七六項目、執筆者二四八名による「都市の知」の集大成。A5判上製函入・二〇五二頁 定価(25000円+税) ISBN 978-4-86110-734-4

コミンテイ事典 伊藤守・小泉秀樹・二本松政之・似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・日高昭夫・吉原直樹 編 ISBN 978-4-86110-538-8 ¥25000  
発信型 日本人が使いこなせないフランス基本単語小辞典 久松健一・Michel Gonçalves 編 ISBN 978-4-86110-563-0 ¥2500

フランス語名詞・動詞連語辞典 石川三千夫(桜美林大学名誉教授) 編 ISBN 978-4-86110-536-4 ¥3500

ブラジル雑学事典 田所清克(京都外国語大学名誉教授) 編 ISBN 978-4-86110-496-1 ¥5000

異文化コミュニケーション事典 石井敏・久米昭元他 編 ISBN 978-4-86110-333-9 電子版のみ ¥7600

ニューズランド百科事典 ニューズランド学会 編 ISBN 978-4-86110-111-3 ¥9333

ダンテ神曲原典読解語源辞典(地獄)(煉獄)(天国) 福島治 編 ISBN 4-921146-77-2 / 4-921146-78-0 / 4-921146-79-9 各巻 ¥46000

現代日本語モノコル語辞典 橋本勝(大阪大学名誉教授) / E・ブレインマン 編 ISBN 4-921146-33-0 ¥15000

## 立教大学人文叢書

### 1 人文資料学の現在

1 浦野聡他 編著 ISBN 4-86110-063-1 ¥2200

2 文学の基礎レクシオン 後藤和彦 編著 ISBN 4-86110-087-9 ¥2200

3 肖像と個性 藤巻明他 編著 ISBN 978-4-86110-138-0 ¥2200

4 人文資料学の現在 II 菅谷憲典 編 ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2200

5 書簡を読む 桑瀬章一郎 編 ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2200

古代文字史料の中心性と周縁性 立教大学東アジア地域環境問題研究所 / 深津行徳・浦野聡 編著 ISBN 4-86110-067-4 ¥3500

韓国の財政と地方財政 鞠重編(横浜国立大学教授) ISBN 978-4-86110-460-2 ¥3000

日中間戦争と中国人文学者 郁達夫、柯靈、陸蠡らめぐって 鈴木正夫(横浜国立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-411-4 ¥3500

読んで愉しむイギリス文学史入門 白井義昭(横浜国立大学名誉教授、立正大学教授) ISBN 978-4-86110-372-8 五刷 ¥1500

## 東洋英和女学院大学 社会科学研究叢書

### メディアとしての ミュージアム

町田小織(東洋英和女学院大学講師) 編 「つむぐ」「つくる」「つなぐ」「つどぐ」「つかう」という五つの視点から、現代のミュージアムの在り方を再考する。 四六判並製・三〇〇頁 定価(25000円+税) ISBN 978-4-86110-739-9



国際協力の行方―経済・開発・オルタナティブ 吉川健治(東洋英和女学院大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-646-0 ¥2500

パワハラ・トハラマに対する短期心理療法 岡本浩一・長谷川明弘 編 ISBN 978-4-86110-639-2 ¥2500

世界のメディア―グローバル時代における多様性 小寺敦之(東洋英和女学院大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-591-3 ¥2500

アジアの国際関係―移行期の地域秩序 福田保(東洋英和女学院大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-590-6 ¥2500

新時代のe-サイトラウマ治療 岡本浩一・角藤比呂志 編 ISBN 978-4-86110-545-6 ¥2500

EU統合を読む―現代ヨーロッパを理解するための基礎 小久保康之 編 ISBN 978-4-86110-483-1 ¥2500

ネット空間を変えるモバイル社会 東洋英和女学院大学メディア・コミュニケーション研究 岡本浩一・パトリシア・スイッパル 編 ISBN 978-4-86110-403-9 ¥2500

過去の再演を越えて―精神的分析的ロール・プレイング 川崎政道(横浜国立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-374-2 ¥3000

英語圏で使われる約一八〇〇の人名を収録。ギリシア語、ラテン語、ヘブライ語、ケルト語などをとり、その語源を説明する。 ISBN 978-4-86110-673-6 ¥3000

## 阿部公彦

# 英文学に デコピン



### 13『ガリヴァー旅行記』、困った

『ガリヴァー旅行記』というと少年少女のヒーローというイメージが沸きがちだが、4篇からなる原作を最後まで読むと、少し居心地が悪い思いを抱くかもしれない。どう対処していいかわからない箇所がある。物語の流れと必ずしもかみ合わない憤りや、生理的な反応、そして何と言っても糞尿への執着があちこち出てくる。そこに生理的に共鳴する人は震えるほどの感動を覚えるだろうが、果たして作家の側に共感させる意図があるのか。むしろ呆れさせよう、ソップを向かせようとしているのかとも思える。

とりわけ糞便問題である。gratuitous violence(いわれなき暴力)という言い方があるが、『ガリヴァー旅行記』にはいわれなき下ネタが氾濫する。リリパット国で火事に遭遇し、「そういえばお酒を飲んだから、大量におしっこが出るぞ!」と尿をしゃーしゃーひっかけ、火事を消し止めるあの有名なシーンあたりから、すでに雲行きが怪しい。これはほんとうにユーモアなのか。奇想なのか。それにしても強引だ。このあと糞便のクローズアップは続き、ついには糞便から食糧

を得る話になったり、馬の国から故国に帰りに着いた後も人間の臭気に堪えられず、馬としゃべる方が楽しいといった展開が待っている。

こんな『ガリヴァー旅行記』を正しく読む方策はあるのだろうか。岩波文庫版に付された解説では、訳者の平井正穂が『ガリヴァー旅行記』とあわせて『アイルランド貧民児処理に関する一私案』にも触れ、「被虐的というか加虐的というか知らないが、とにかく何か病的なものがあることは否定できない」と苦渋に満ちたコメントをする。しかしそこからがさすが。「いくら彼が自分を韜晦しても、要するに、彼はエホバの顔を避けようとしていただけではないのか」「彼は子供のように、人間と神に対して甘えていたのではなかったのか」と進める。え〜!と言いたくなる人もいるかもしれない。それは「正しさ」の押しつけではないか。だが、きっと、こんな強引な「正しさ」に平井正穂を、そして私たちを追い込むあたりにこそスウィフトの真骨頂があるのだ。(英文学者)

## 言語



おしゃべりなポライトネス―会話の中の共話・話題交換・笑い・メタファー 笹川洋子(神戸親和女子大学教授) ISBN 978-4-86110-642-2 ¥3500

神奈川県の方言アクセント―小田原から横浜 賀まで 坂本薫(國學院大学兼任講師) ISBN 978-4-86110-670-5 ¥3700

Japanese English: A Descriptive Grammar Kojawole Waziri Diagboye(都留文科大教授) ISBN 978-4-86110-680-4 ¥6900

小学校英語への専門的アプローチ―こはの世界を拓く 綾部保志(立教池袋中学校・高等学校 教諭) 編 ISBN 978-4-86110-647-7 ¥2000

ウェールズ語の歴史 ジャネット・デイヴィス 著 / 小池剛史(大東文化大教授) 訳 ISBN 978-4-86110-608-8 ¥2700

視覚スキーマを用いた意味拡張機づけの分析 栗田奈美(恵泉女学院大教授) ISBN 978-4-86110-564-7 ¥5500

英語と開発―グローバル化時代の言語政策と教育 F・サージェント、E・J・アーリング 編 / 松原好次監訳 ISBN 978-4-86110-471-8 ¥3500

英語学―現代英語をより深く知るために 菊池清明(関西外国語大教授) 編 ISBN 978-4-86110-513-5 ¥1400

第二言語学習と個別性 津田塾大言語文化 研究所言語学習の個別性研究グループ 編 ISBN 978-4-86110-065-9 ¥1600

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis 鈴木憲夫(元神戸親和女子大教授) ISBN 978-4-86110-114-4 ¥7619

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II 鈴木憲夫 ISBN 978-4-86110-300-1 ¥6667

ジョンソンと「国語」辞典の誕生―十八世紀 巨人の名言・金言 早川勇(愛知大名誉教授) ISBN 978-4-86110-399-5 ¥2500

ヘルベル語とティフィナグ文字の基礎―タリー フィート語(Tally)入門 石原忠佳(創価大教授) ISBN 978-4-86110-394-0 電子版のみ ¥286

啓蒙思想下のジョンソン辞書―知の集成を目指して 早川勇(愛知大名誉教授) ISBN 978-4-86110-380-3 ¥5000

ベトナム語母語話者のための日本語教育 松田真希子(金沢大教授) ISBN 978-4-86110-491-6 電子版のみ ¥3600

デイケアの心理学 浮田徹嗣(横浜国立大教授) ISBN 978-4-86110-306-3 ¥3000

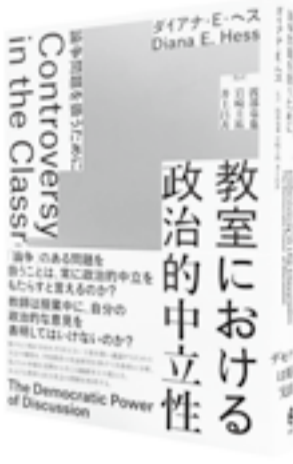


教育のリーダーシップとハンナ・アーレント



ヘレン・M・ガンター 著／末松裕基 (東京学芸大学准教授)・橋本憲幸 (山梨県立大学准教授) 訳

指導すること＝他者と関わり何かを始めることは、いまでも何らかの意味を有しているか。英国の公教育における政策・経営の現代化改革もたらした、全体主義的な影響を検討。擬制のなかで無自覚に行なわれうる受動的・均質的な思考をしりぞけ、学校・組織・政治と私たちの間にある関係、教育をめぐる「活動」の過程と意味を探る。四六判上製・三六八頁 定価(3,000円+税) ISBN 978-4-86110-704-7



ダイアナ・E・ヘス 著／渡部竜也 (東京学芸大学准教授) 訳

岩崎圭祐 (佐川町立佐川中学校教諭)・井上昌善 (愛媛大学教育学部講師) 監訳 私たちはどのように意見を交わしているか? 論争のある問題を扱うことは、政治的に中立だと言えるか? 様々な立場が含まれる意見をええな主張を扱い議論するための方法や構想を、学校教育の実証研究を挙げて具体的に分析。多様な見解から生じる価値対立の捉え方、および公教育と民主社会の関係を再考する。A5判上製・三四六頁 定価(4,500円+税) ISBN 978-4-86110-718-4

19世紀フランスにおける女子修道院寄宿学校

山内由賀 (立命館大学講師) いかにかして修道院寄宿学校は女子教育を担い続けてきたのか。19世紀のフランス女子教育の中心であった修道院寄宿学校の変遷や教育活動の実態を、社会体制をふまえて検証する。 ISBN 978-4-86110-735-1 ¥3600

「共生社会」と教育―南アフリカ共和国の学校における取り組みが示す可能性

坂口真康 (兵庫教育大学講師) 西ケープ州の公立学校でなされる教育のキャリア・プログラムや実践を丹念に分析。多文化社会における「共生」に向けた教育の方途を探る。 ISBN 978-4-86110-726-9 ¥3400

「障害者」として社会に参加する―生涯学習施設で行うあらゆる人の才能を生かす試み

三谷雅純 (兵庫県立大学客員教授) さまざまな「障害」のある人が自らの才能を生かせるような社会の実現に向け、生涯学習施設の活動や災害放送の改善策を当事者の視点から提言。 ISBN 978-4-86110-703-0 ¥4000

移動する女性たち―海外の日本語教育と国際ボランティアの周辺 平畑奈美 (東洋大学教授) ISBN 978-4-86110-638-5 ¥3241

共同体による自己形成―教育と政治のフレンジー マチズム 著 生澤繁樹 (名古屋大学准教授) ISBN 978-4-86110-641-5 ¥5500

主権者教育論―学校カリキュラム・学力・教師 渡部竜也 (東京学芸大学准教授) ISBN 978-4-86110-648-4 二刷 ¥4500

「英語」に基づく「教育」の探る―教育学における規範と事実をめぐる 杉田浩宗 熊井将太 編 ISBN 978-4-86110-658-3 電子版のみ ¥3700

The Developmental Process of Japanese Elementary School Teachers Associated with Teaching English while Engaged in Lesson Study 上原明子 ISBN 978-4-86110-634-7 ¥5900

教育と他者―非対称性の倫理に向けて 橋本憲幸 (山梨県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-614-9 電子版のみ ¥4000

アメリカ人の生活と学校カリキュラム―生活に根差した学校に向けての次のステップラック著 渡部竜也 他 訳 ISBN 978-4-86110-602-6 ¥6000

大学英語教育の質的転換―「学ぶ」場から「使う」場へ 佐藤響子・Carl McGary・加藤千博 編 ISBN 978-4-86110-618-7 ¥2300

歴史的思考―その不自然な行為 サム・ワインバーグ 著 渡部竜也 監訳 ISBN 978-4-86110-555-5 二刷 ¥5100

世界初市民性教育の国家規模カリキュラム 渡部竜也 編訳 ISBN 978-4-86110-490-9 ¥4722

真正の学び／学力―質の高い知をめぐる学校再建 フレッド・M・ニューマン 著 渡部竜也・堀田諭 訳 電子版のみ ISBN 978-4-86110-525-8 ¥6200

モン・グッドのための歴史教育―社会的文化的アプローチ レヴズステイク・パートナー 著 渡部竜也 他 訳 ISBN 978-4-86110-445-9 二刷 ¥6000

言葉への道―障害の重い人たちの事例研究集 遠藤司 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-573-9 ¥2800

教育方法改革の理論 助川晃洋 (国士館大学教授) ISBN 978-4-86110-578-4 ¥2000

子どもの「内面」とは何か―言語ゲームから見た他者理解とコミュニケーション 杉田浩宗 (広島大学准教授) ISBN 978-4-86110-556-2 ¥3700

絵本から「子ども福祉」を考える 青木文美 (愛知淑徳大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-514-2 ¥3400

現代の学校を読み解く―学校の現在地と教育の未来 末松裕基 (東京学芸大学准教授) 編著 ISBN 978-4-86110-504-3 二刷 ¥2300

居場所―生の回復と充溢のトホス 萩原建次郎 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-566-1 電子版のみ ¥2315

留学生の見た漢字の世界―漢字学習への創造的アプローチ 林さと子・関麻由美・齋藤伸子 編著 ISBN 978-4-86110-568-5 ¥1852

人生の調律師たち―動的ドラマトゥルキーの展開 藤川信夫 (大阪大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-540-1 ¥4500

教育実践の昭和 横須賀寛 (元十文字学園女子大学学長) ISBN 978-4-86110-512-8 ¥2000

日本統治下台湾の教育認識―書房・公学校を中心に 呉宏明 (京都精華大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-505-0 ¥3500

キリスト教人格教育論―個人の尊厳を見つめて 吉岡良昌 (元東洋英和女学院大学教授) ISBN 978-4-86110-417-6 ¥2300

いのちを育む教育学 吉岡良昌 (元東洋英和女学院大学教授)・大川洋 (国際基督教大学上級准教授) ISBN 978-4-86110-143-4 ¥2200

アメリカ教育福祉社会史序説―ピシティング・ティーチャーとその時代 倉石一郎 (京都大学教授) ISBN 978-4-86110-416-9 二刷 ¥3000

物語が始まるとき―共創教育の現場から 青木幸子 (昭和女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-415-2 ¥1800

ワークシートで学ぶ 生徒指導・進路指導の理論と方法 林尚示・服部伴文・村木見 ISBN 978-4-86110-355-1 ¥2000

日中教育対話―川野凱声・山崎高哉 共編 ISBN 978-4-86110-159-5 ¥3200 / ISBN 978-4-86110-220-2 ¥2800 / ISBN 978-4-86110-248-6 ¥320

子どもの心にそぐ授業―三重県桑名市立藤が丘小学校における六年 伊藤新司 編著 ISBN 978-4-86110-326-1 ¥2381

海峽を越えて―京畿高等女学校の思い出 太田孝子 (岐阜大学教授) ISBN 978-4-86110-157-1 ¥2200

戦前 感化・教護実践史 佐々木光郎・藤原正範 編著 ISBN 4-921146-18-7 ¥4800

昭和戦前期の少年教護実践史(上・下) 佐々木光郎 上 ISBN 978-4-86110-330-8 下 ISBN 978-4-86110-331-5 各巻 ¥3500

Experimental Studies on Prosodic Features in Second Language Acquisition 伊庭緑 (甲南大学教授) ISBN 978-4-86110-235-6 ¥4600

英単語のいぢ 早川勇 (愛知大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-217-2 1800

はじめての論文―語用論的な視点で調査・研究する 田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 4-86110-349-0 三刷 ¥1800

ブラクマニクス・ワークショップ―身のまわりの言葉を用語論的に見る 田中典子 ISBN 4-86110-073-9 四刷 ¥1800

環境心理学―環境デザインへのバースペディブ 植光 (実践女子大学教授) ISBN 4-86110-010-0 二刷 電子版のみ ¥2286

新版 生涯学習と地域社会教育 末本誠 (茨川短期大学学長)・松田武雄 (中村学園大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-234-9 ¥2476

学びを開くNIE―新聞を使ってどう教えるか 影山清四郎 (横浜国立大学名誉教授) 編著 ISBN 4-86110-080-1 ¥2381

幼児キャンプ―雪の体験 山梨幼児野外教育研究会 監修 ISBN 4-921146-40-3 ¥1905

感染史関連の書籍をひもとくと、特に前者のような話は、古今東西つねにあったことがわかる。他方、後者についていうと、ナチズムのもとで、民族全体が被った大虐殺の経験と記憶の「逆像」のようなものが、どうもみえてくるような気がする。

いずれにせよ、そうした話を聞くにつけて頭をよぎるのは、「選民」という言葉である。それは人類史を通してコ・プレゼンスの根幹をゆるがすものとしてあったが、とりわけ近代においては、「宿痾」のようなものとしてあったといえる。パンデミックは繰り返すものというのが、いまや定説になりつつある。それでも、今回のパンデミックによって、はからずも社会のもっとも脆弱な部分、もっとも「暴力的」なものが露出しているように思えてならないのであるが、そう感じるのは、果たして私だけであろうか。

こんにち、人間と感染症との相互作用という事態は、もはや避けられないことが明らかになっている。だから、今後、私たちは、何度も、とてつもない感染症との戦争のなかに置かれ、それとともに何らかのかたちで「選民」をつくり出す環境に向き合わざるを得なくなるであろう。そしてそうであればこそ、コ・プレゼンスのありようを、近代がもたらした多様性と寛容の精神、そして「選民」の思想とともに問い続ける、終わりのない旅路に、私たちはつくことになる。もちろん、この旅路が「いつか来た道」に立ちもどることがないことを祈りつつ、ではあるが。(社会学者)

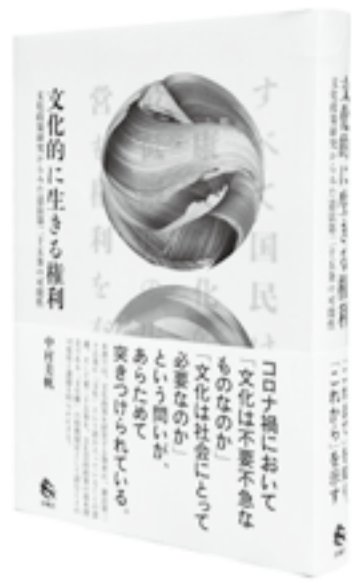


co-presence の時代へ 吉原直樹

4 / 再び問う、亀裂の先の選民の思想を

新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって、ひび割れた凍土が露呈し、人びとはといえば、「背中が痛む社会」に棲むことを強いられている。それとともに、パンデミックとの戦いを「新しい戦争」になぞらえる言説が散見されるようになっている。そうしたなかで、最近気になっているのは、ひとつは医療の最前線で「命の選別」がおこなわれているという話、そしていまひとつは、イスラエルがワクチンの接種競争において最も先を走っているという話だ。そうした話の真偽のほどは定かではないが、このところ、いささか「流行もの」となっている

# 社会・歴史・政治



**文化的に生きる権利**  
文化政策研究からみた憲法第二十五条の可能性  
中村美帆 (静岡文化芸術大学准教授)

コロナ禍において「文化は社会にとって必要なものか」という問いが、あらためて突きつけられている。文化政策研究の立場から、憲法第二十五条に「文化」という語が入っていることの意味を考察する。  
A5判上製・二九六頁 定価(4500円+税)  
ISBN 978-4-86110-724-5



**制服ガールの総力戦**  
イギリスの「女の子」の戦時貢献  
杉村使乃 (共立女子大学教授)

女性は戦争にどのように関わったのか？ 制服の女性は戦時下のメディアでどのように取り上げられたのか？ 第二次世界大戦時の制服姿の女性を通して、「女性活躍」の表象を読み解く。  
四六判並製・一三四頁 定価(3200円+税)  
ISBN 978-4-86110-603-3



**社会的システム理論の軌跡**  
ソシオサイバネティクスとニクラス・ルーマン  
赤堀三郎 (東京女子大学教授)

システム理論を用いてこそ社会学ができる。どういうロジックでそう言えるのか？ 難解とされる理論を基層から掘り起こし、その可能性と魅力を明快に示す。  
四六判上製・三三六頁 定価(3600円+税) ISBN 978-4-86110-720-7



**現代民俗学考**  
郷土研究から世界常民学へ  
佐野賢治 (神奈川県立大学准教授)

「現代社会における民俗研究の意義」「仏教民俗研究の新視角」「モノ語り―民具・地域博物館・文化創生」「民俗比較と国際常民文化研究」の四分野四二編から成る、佐野賢治古稀・神奈川大学退職記念論集。  
A5判上製・二〇八頁 定価(13000円+税) ISBN 978-4-86110-708-5



**アジアの海を渡る人々**  
一六・一七世紀の渡海者  
上田信 (立教大学教授)・中島楽章 (九州大学准教授)

日本史料・漢籍史料・ヨーロッパ史料を総合的に検討し、紛争と外交の事例を分析することで、東アジア海域秩序の長期変動を解明する。  
四六判上製・四九〇頁 定価(5000円+税) ISBN 978-4-86110-729-0

## ポストモダンの処方箋

27 知性への憎悪 白井聡

コロナ禍をきっかけとして、日本の反知性主義は新しい段階に入った。いや、その深度がコロナ禍のために表面化したと言うべきなのかもしれない。

日本の新型コロナウイルス対策の本質的特徴は、専門知の軽視である。パンデミックの開始から1年以上が経ち、何をしなければならぬか、すでに結論は出ている。ワクチンの調達が進まない以上、行動抑制と大規模なPCR検査以外に採るべき手段はない。ゆえに、この間生産されてきた検査抑制をめぐる議論ともプロパガンダともつかない大量の言説は、実に奇怪な代物だった。パンデミック初期にPCR検査体制の不十分さゆえに唱えられていたはずの抑制論が、今日に至っても力を失っていない。重大なことには、この奇妙な言説を担ってきたのは、政府の不始末を糊塗することを普段から生業としているジャーナリスト(自称)等のみではなかった。訓練を受けたはずの多くの専門家がそれに加担してきたのである。このことは何を意味するのだろうか。

他方、日本学術会議会員の任命拒否問題は、いまだ何の解決もみえていない。こ

の事件において結局のところ政権が一步たりとも妥協していないという事実は、政権が現代日本社会に存在する反知性主義的傾向をどれだけ信頼しているかを物語っている。

二つの現象に共通するのは、経験と知的な吟味に政府の決定を優越させるという原理にほかならない。かつ、この態度は専門家にも一般大衆にも共有されている。それはフェイクニュースやポスト・トゥルースの時代にふさわしい光景ではある。

そして、トランプの大統領の再選が阻止され反知性主義に一定の歯止めが掛かったアメリカとは対照的に、日本はトランプ再選を信じる者が大量発生したアメリカ以外で唯一の国である。だから、日本における知性への憎悪の強さは、世界一の水準さえ窺おうとしている。その根本原因は何であるのか。権力への忖度という答えでは不十分だ。それはどこでも多かれ少なかれあるものだ。この原理の突出の原因が究明されねばならない。日本にもホフスタッターが現れ、徹底的な分析がもたらされなければならないであろう。(政治学者)

**東アジアにおける南島研究―南島史学会創立50周年記念論集**  
南島史学会 編

沖縄を中心に東・東南アジア諸地域の歴史・民俗・人類・考古学等を研究する南島史学会の創立50周年記念論集。論考11篇を収録。  
ISBN 978-4-86110-742-9 ¥5000

**現場に立つから、おもしろい―世界をつなぐひと・モノ・しくみ**  
江戸川大学現代社会学科 監修 現代社会の諸課題に向き合うヒントは現場(フィールド)にある。食、観光、スポーツなど身近なテーマから多角的視点を育む社会学の入門書。  
ISBN 978-4-86110-740-5 ¥1800

**ナショナリズムの空間―イスラエルにおける死者の記念と表象**  
今野泰三 (中央大学准教授)

イスラエルの死者を記念する建造物・碑文がナショナリズムと如何に結びついているのか。現地調査を基に分析する政治地理学研究。  
ISBN 978-4-86110-722-1 ¥3600

**カランデル刑務所―ブラジル最大の刑務所における囚人たちの生態**  
ドラウジオ・ヴァレーラ著/伊藤秋仁(京都外国語大学教授) 軍警察による囚人の大虐殺が起きたカランデル刑務所に勤務していた医師が描く、日々のおもしろい出来事。ブラジルのベストセラー、待望の邦訳。 ISBN 978-4-86110-695-8 ¥3600

**現代中東における宗教・メディア・ネットワーク―イスラームのゆくえ**  
千葉悠志(公立小松大学准教授)・安田慎(高崎経済大学准教授) 編 情報化や宗教復興の只中にある中東のイスラームの「柔軟性」を「メディア」と「制度的ネットワーク」の視点から論じる。  
ISBN 978-4-86110-728-3 ¥2800

**先祖祭祀と墓制の近代―創られた国民的習慣**  
問芝志保 整然と区画された墓地に家族の墓を所有し、遺骨を納め、折にふれて墓参りに行く―。この日本の「伝統的」な習慣は、いつ生まれ、どのように変遷しつつ普及してきたのか、その諸相に迫る。  
ISBN 978-4-86110-692-7 ¥5000

**中央ヨーロッパ―歴史と文学**  
桂元嗣(武蔵大学教授) 「根本的な奇妙さ」のうえに形作られた中欧の歴史を引き受けながら自分たちの物語を再創造するカフカ、チャペックらの文学を、ドイツとの関係、小民族の同化と差異化、神話的虚構といった観点から読み解く。 ISBN 978-4-86110-701-6 ¥2800

**多文化チームと日本人リーダーの動的思考プロセス―クワンテッド・セオリーからのアプローチ**  
石黒武人 ISBN 978-4-86110-687-3 ¥3600

**合法性と正当性**  
デイヴィッド・ダイゼンハウス著/池端忠司訳 ISBN 978-4-86110-686-6 ¥4100

**基礎的自治体と町内会自治会―行政協力制度の歴史・現状・行方**  
日高昭夫(山梨学院大学特任教授) ISBN 978-4-86110-611-8 電子版のみ ¥4200

**東アジアの弾圧・抑圧を考える―19世紀から現代まで**  
日本・中国・台湾 岩下哲典他 ISBN 978-4-86110-669-9 ¥4000

**開発と文化における民衆参加―タンザニアの発展の条件**  
阪本公美子(宇都宮大学准教授) ISBN 978-4-86110-676-7 ¥4500

**江戸の名主 馬込勘解由**  
高山慶子(宇都宮大学准教授) ISBN 978-4-86110-666-8 ¥4100

**On the Road to the East Asian Community**  
奥田孝晴他 編 ISBN 978-4-86110-655-2 ¥6000

**反逆者たちのアメリカ文化史―未来への思考**  
堀真理子(青山学院大学教授) ISBN 978-4-86110-659-0 ¥2700

**統計は力なり―エルンスト・エンゲルの希望の学**  
太田和宏(元北海学園大学准教授) ISBN 978-4-86110-656-9 ¥3700

**ムガル建築の魅力―皇帝たちが築いた地上の楽園**  
宮原辰夫(文政大学教授) ISBN 978-4-86110-660-6 ¥3100

寛容な社会—アメリカ合衆国における言論の自由と過激派の言論 リー・C・ボリンジャー 著／池端忠司訳 ISBN 978-4-86110-593-7 ¥3900

食から描くインド—近現代の社会変容とアイデンティティ 井坂理穂(東京大学准教授)・山根聡(大阪大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-633-0 二刷 ¥3700

ニージーランドTODAY ニュージージーランド大学 編 ISBN 978-4-86110-644-6 ¥2000

難民支援—ドイッメディアが伝えたこと 松原好次(元電気通信大学教授)・内藤裕子(翻訳者) 編 ISBN 978-4-86110-607-1 ¥2700

社会学批判と現代—早瀬利雄の人と学問 内藤辰美(山形大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-561-6 ¥3900

海と陸の織りなす世界史—港市と内陸社会 弘末雅士(元立教大学教授、東洋文庫研究員) 編 ISBN 978-4-86110-592-0 ¥3000

エネルギーと地方財政の社会学—旧産炭地と原子力関連自治体の分析 湯浅陽一(関東学院大学教授) ISBN 978-4-86110-586-9 ¥3700

スイスの謎—経済的空間的秩序 加藤幸治(国士館大学教授) ISBN 978-4-86110-585-2 ¥2700

カヌードスの乱—19世紀ブラジルにおける宗教共同体 住江淳司(名桜大学教授) ISBN 978-4-86110-571-5 ¥3200

東アジアの秩序を考える—歴史・経済・言語 岩下哲典(東洋大学教授) 他 ISBN 978-4-86110-574-6 ¥3700

当事者が支援する—薬物依存からの回復 タルクのロケット 南保輔・中村英代・相良翔編 ISBN 978-4-86110-584-5 ¥2000

戦後小樽の軌跡—地方都市の衰退と再生 内藤辰美・佐久間美穂(川村学園女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-526-5 ¥3800

北の商都「小樽」の近代—ある都市の伝記 内藤辰美(山形大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-450-3 ¥3900

都市の遺産とまちづくり—アジア大都市の歴史保全 鈴木伸治(横浜国立大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-560-9 ¥3200

新版 学問の暴力—アイヌ墓地はなぜあはれたか 植木哲也(吉小牧駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-531-9 ¥4400

「フォーク」からの転回—文化批判と領域史 小長谷英代(早稲田大学教授) ISBN 978-4-86110-535-7 ¥4300

医療制度改革の比較政治 石垣千秋(山梨県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-534-0 ¥5400

国際コミュニケーションの政治学 本多周爾(武蔵野学院大学教授) ISBN 978-4-86110-524-4 ¥3000

ミットフォードと釈尊—イギリス人外交官の見た理想郷日本 A・B・ミットフォード著／大西俊男訳 ISBN 978-4-86110-524-1 ¥3200

都市近隣組織の発展過程—コミュニティガバナンスの日本比較論 大内田鶴子(江戸川大学教授) ISBN 978-4-86110-527-2 ¥5000

東亞連盟運動と石原莞爾 内村琢也(研究者) ISBN 978-4-86110-522-7 ¥5000

素捕・杉原千敏 小谷野裕子(エッセイスト) ISBN 978-4-86110-528-9 二刷 ¥1800

天馬山—北朝鮮からの引揚げ者の語り 浅井重紀子(桜美林大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-519-7 ¥2200

歴史教科書とナショナリズム—日本とドイツ 原口健治(青山学院大学教授) ISBN 978-4-86110-506-7 ¥2700

宝は田から—「あわせ」の農村民俗誌 山形県沢村 佐野賢治(神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-507-4 ¥3500

先生、NPOって儲かりますか?—若者たちが地元で賢く生きる方法 渡辺豊博(元都留文科大学教授) ISBN 978-4-86110-480-0 ¥1389

今、田村明を讀む—田村明著作選集 鈴木伸治(横浜国立大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-508-1 二刷 ¥2000

ケニアへかけた虹の橋—30年の国際ボランティア活動 NPO法人「少年ケニヤの友」編 ISBN 978-4-86110-485-5 ¥1833

ホストセリングを知っていますか?—日本の子ども向けテレCMの実態 山下玲子、藤井達也 ISBN 978-4-86110-435-0 ¥3000

変容するテレビニュースとキャスターの役割 深澤弘樹(駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-432-9 ¥3400

婚姻連帯論と社会学—レウィーストローズ、デュルケムをめぐって 門口充徳(成蹊大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-423-7 ¥4900

ヘリーと黒船祭—日米文化外交史 佐伯千鶴(立命館大学教授) ISBN 978-4-86110-425-1 ¥2200

難の誕生—難節供に込められた対の豊穡 皆川美恵子(十文字学園女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-439-8 ¥3800

スイスの歴史ガイド グレゴワール・ナッペイ著／藤野成爾訳 ISBN 978-4-86110-413-8 ¥1800

不思議フランス魅惑の謎 藤野敦子(京都産業大学教授) ISBN 978-4-86110-401-5 二刷 ¥1800

保守のフロント 中島岳志(東京工業大学教授) ISBN 978-4-86110-227-1 ¥1800

変容する冷戦後の世界—ヨーロッパのリナル・デモクシー 永松雄彦・萬田悦生 編 ISBN 978-4-86110-224-0 ¥2381

日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム—リハル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦 水野剛也 ISBN 4-86110-038-0 ¥4600

1920年代の日本と「国際関係—混沌を越えて」新しい秩序」へ 杉田米行(大阪大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-262-2 ¥2500

ネットワーク社会と空間のポリテクス—都市・モダニティ・グローバルゼーション 大澤善信 ISBN 978-4-86110-202-8 ¥2800

イングランドの地名—起源と歴史を訪ねて K・キヤメロン著／吉見昭徳(明治学院大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-290-5 ¥4286

表象のウェネツィア—詩と美と悪魔 鳥越輝昭(元神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-329-2 ¥2800

グローバルゼーション、市民権、都市—ヘクシスの社会学 岩永真治(明治学院大学教授) ISBN 978-4-86110-140-3 二刷 ¥3333

ヒトから人へ—二人前への民俗学 佐野賢治(神奈川大学教授) ISBN 978-4-86110-281-3 ¥2381

物権法概説 小泉健(一橋大学学長) ISBN 978-4-86110-221-9 ¥2800

かの冬、そして秋—僕の朝鮮戦争 柳宗鎬著／白燦訳／太田孝子(日本語校員) ISBN 978-4-86110-256-1 ¥2800

保生大帝—台北大龍峒保安宮の世界 尾崎保子(元昭和女子大学教授) ISBN 978-4-86110-105-2 ¥2800

牡牛と信号—「物語」としてのネパール 山本真弓・序・佐々木幹郎(詩人) ISBN 4-921146-60-8 ¥2200

日中比較産業史—取引慣行と制度に見る戦前期中日経済の特質 四方田雅史(静岡文化芸術大学准教授) ISBN 978-4-86110-486-2 ¥3700

アメリカの対日通貨政策の形成—1971—2003年の日米通貨交渉を事例として 増永真 ISBN 978-4-86110-359-9 ¥2700

中国興業銀行の崩壊と再建—第二次大戦後フランスの政治・経済・金融的対抗 篠永直孝(大阪大学准教授) ISBN 978-4-86110-565-4 ¥6640



インド・剥き出しの世界 田中雅一(国際フアンション専門職大学教授)・石井美保(京都大学准教授)・山本達也(静岡大学准教授) 編 殺人、売春、性暴力、中絶、戦争、国家暴力、屠殺、焼身自殺……。南アジア世界における(闇)を、文化相対主義のもとで「尊重」するのか、あるいは被害者を「救済」するのか。「現場から境界を攪乱する」ことを企図する文化人類学者たちが「剥き出しの生」に迫り、そこに生きる人々の日常実践に向き合う。 A5判並製・四五六頁 定価(4800円+税) ISBN 978-4-86110-665-1



愛と共生のイスラーム 現代エチオピアのスーフィズムと聖者崇拜 石原美奈子(南山大学教授) 編著 西アフリカからエチオピア西部にやってきた一人のイスラーム神秘主義者が、「無償の奉仕」を通して、様々な民族・宗教の人たちからカリスマ的な聖者として崇敬されるようになった過程、そしてそのカリスマ性が、次世代の人々の営みによって受け継がれていく様子を描き出した民族誌。 A5判上製・五五頁 定価(6300円+税) ISBN 978-4-86110-710-8



親子とは何か ナイジェリア・ハウサ社会における「里親養育」の民族誌 梅津綾子(南山大学人類学研究所・非常勤研究員) 「生みの親」と「育ての親」が分担して一人の子供を育てる慣行がある、ナイジェリアのハウサ社会。その慣行を可能にしている社会の仕組みや、「親」と「子」がお互いに何をやり取りしているのかについてフィールドワークを行い、「親子」の多彩なつながりの可能性を探る。 A5判上製・三〇頁 定価(4100円+税) ISBN 978-4-86110-723-8



家族を生み出す 台湾をめぐる国際結婚の民族誌 横田祥子(滋賀県立大学准教授) 「人身売買」として非難もされる、仲介業者の斡旋による国際結婚が、どのような社会背景や仕組みのもとで成立しているのか、そして当事者たちは何を求めているのか、移住先の台湾と移住元のインドネシアでのフィールドワークをもとに、結婚移民たちと家族の生を描く。 A5判上製・三六〇頁 定価(3600円+税) ISBN 978-4-86110-709-2

エチオピア帝国再編と反乱(ワヤネ)—農民による帝国支配への挑戦 眞城百華(上智大学教授) 一九四三年にエチオピア帝国で起きた大規模農民反乱(ワヤネ)の背景・要因を聞き取り調査から分析し、「埋もれた声」を追う。 ISBN 978-4-86110-721-4 ¥4200



持続可能な開発における

文化の居場所

「誰一人取り残さない」開発への応答 関根久雄 (筑波大学教授) 編

SDGsにおいて経済・社会・環境は語られる一方で、文化は見過されてきたのではないかと、「持続可能な開発」に、地域社会の文化や文化的多様性はいかんとして結びつく・結びつけられるべきなのか。開発の理念・思想と各国の現場の実際を、開発学・人類学・教育学・社会学の観点から多角的に検討することで、議論の足がかりを探る。

四六判並製・三三八頁 定価(3500円+税) ISBN 978-4-86110-711-5

病いと薬のコスモロジー

ヒマラーヤ東部タワンにおける

チベット医学、憑依、妖術の民族誌 長岡慶

(日本学術振興会特別研究員(CPD)、関西大学) 伝統治療者、薬師、僧、村人、薬草、制度、神霊、インフラなど人とモノが協働するなか、ヒマラーヤ東部のタワンの人々が経験する体の節々の痛み、胃炎、毒盛りや神霊による祟りといった病いと、そこであらわれている不確かで複数的な身体を、気鋭の人類学者がフィールドワークをもとに丹念に描く。

四六判上製・四六六頁 定価(4000円+税) ISBN 978-4-86110-710-8



アフリカの森の女たち

文化・進化・発達の人類学 ポニー・ヒューレット著 服部志帆(全理大学准教授)・大石高典(東京外国語大学准教授)・戸田美佳子(上智大学助教) 訳 中央アフリカ共和国で暮らす農耕民ガンドウと狩猟採集民アカの女性たちの語りから見る、人間の多様性と普遍的特性。ISBN 978-4-86110-682-8 ¥3100

カンボジア 共生の空間―慰霊・負の遺産・コミュニティ 牧野冬生(早稲田大学特別センター員)・島崎裕子(国立民族学博物館准教授) 著

加害者と被害者が隣接して暮らすカンボジアで、人々はいかに社会ネットワークを再構築し、平和を希求してきたのか。写真集も併録。ISBN 978-4-86110-661-3 ¥3600

21世紀のメキシコ革命―オアハカのストーリー トアティエスタがつむぐ物語 山越英嗣(早稲田大学助教)

グローバルな力関係のなかで絡み合う、先住民ストリートアートと政治、歴史意識、そしてアイデンティティ。ISBN 978-4-86110-675-0 ¥3600

宗教と開発の人類学―グローバル化するポスト世俗主義と開発言説 石森大知・丹羽典生 編 ISBN 978-4-86110-651-4 ¥4000

グローバル都市を生きる人々―イラン人ディアスポラの民族誌 椿原敦子(龍谷大学准教授) ISBN 978-4-86110-599-9 ¥3700

まちづくりのエスノグラフィ―「つくば」を織り合わせる人類学的実践 早川公(大阪国際大学准教授) ISBN 978-4-86110-626-2 二刷 ¥3700

アフリカ漁民文化論―水域環境保全の視座 今井一郎(関西学院大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-643-9 ¥3700

流れをよそおうレバノンにおける相互行為の人類学 池田昭光(明治学院大学助教) ISBN 978-4-86110-587-6 ¥3500

都市の寺廟―シンガポールにおける神聖空間の人類学 福浦厚子(滋賀大学教授) ISBN 978-4-86110-599-9 ¥4000

文化遺産はだれのものか―トルコ・アナトリア諸文明の遺物をめぐる所有と保護 田中英資 ISBN 978-4-86110-3548-7 ¥3700

建築人類学―読む・描く・造る 牧野冬生(駒沢女子大学特任准教授) ISBN 978-4-86110-539-5 ¥4000

世界遺産の自然と暮らす 今井一郎(関西学院大学教授) ISBN 4-921146-98-5 ¥1905

貧困と連帯の人類学―ブラジルの路上市場における二方的贈与 奥田若菜(神田外国語大学准教授) ISBN 978-4-86110-532-6 電子版のみ ¥3700

The Agricultural Mongols ボルジギン・ブレンサイン(滋賀県立大学教授) ISBN 978-4-86110-543-2 ¥6000

「共感」へのアプローチ―文化人類学の第二歩 渥美一弥(自治医科大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-497-8 ¥2000

霊媒のいる街―北タイ、チェンマイの宗教復興 福浦一男(桐蔭横浜大学准教授) ISBN 978-4-86110-489-3 ¥4000

〈紛争〉の比較民族誌―グローバル化におけるオセアニアの暴力・民族対立・政治的混沌 丹羽典生 編著 ISBN 978-4-86110-482-4 ¥3700

つながりの民族誌―中国摩梭人の母系社会における「共生」への模索 金繩初美(西南学院大学教授) ISBN 978-4-86110-487-9 ¥5000

実践と感情―開発人類学の新展開 関根久雄(筑波大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-469-5 ¥3500

現代アジアの宗教―社会主義を経た地域を読む 藤本透子(国立民族学博物館准教授) 編 ISBN 978-4-86110-453-4 ¥4200

途上と目的地―スペイン・サンティアゴ徒歩巡礼路 旅の民族誌 土井清美(中央学院大学講師) ISBN 978-4-86110-466-4 電子版のみ ¥4000

聖なる鉄琴スロバニアの民族誌―ハリ島トウガン・ブリクシンガン村の生活、信仰、音楽 野澤暁子 ISBN 978-4-86110-440-4 ¥4700

シヨ・パフォーマンズが立ち上がる―現代アフリカの若者たちがむすぶ社会関係 大門碧 ISBN 978-4-86110-449-7 ¥4500

誰が差別をつくるのか―エチオピアに生きるカファとマンジエの関係誌 吉田早悠里(南山大学准教授) ISBN 978-4-86110-402-2 ¥4900

Social Development, Culture, and Participation 阪本公美子(宇都宮大学准教授) ISBN 978-4-86110-174-8 ¥6476

Dominio provincial en el Imperio inca 渡部森哉(南山大学教授) ISBN 978-4-86110-431-2 ¥4630

Estructura en los Andes Antiguos 渡部森哉(南山大学教授) ISBN 978-4-86110-371-1 ¥5714

インカ帝国の成立―先スペイン期アンデスの社会動態と構造 渡部森哉(南山大学教授) ISBN 978-4-86110-205-9 ¥7619

ダワー・タンザニア、反乱と治療をもたす謎の概念 岩崎明子(文化人類学者) ISBN 978-4-86110-389-6 ¥3333

ナシヨナリズムと宗教―現代インドのビンドゥー・ナシヨナリズム運動 中島岳志(東京工業大学教授) ISBN 4-86110-048-8 ¥3619

癒しと呪いの人類学(第二版) 板垣明美(横浜国立大学准教授) ISBN 978-4-921146-86-3 ¥2800

グエトナム―変化する医療と儀礼 板垣明美(横浜国立大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-145-8 ¥2381

シリーズ 来たるべき人類学(全五巻)

1 セックスの人類学 奥野克巳・椎野若菜・竹ノ下祐二 編 ISBN 978-4-86110-180-9 二刷 ¥1905

2 経済からの脱出 織田竜也・深田淳太郎 編 ISBN 978-4-86110-200-4 ¥2381

3 宗教の人類学 吉田匡興・石井美保・花湖馨也 編 ISBN 978-4-86110-247-9 ¥1905

4 アジアの人類学 片岡樹・シンジルト・山田仁史 編 ISBN 978-4-86110-357-5 二刷 ¥2381

5 人と動物の人類学 奥野克巳・山口未花子・近藤秋 編 ISBN 978-4-86110-325-4 ¥2381

刊行予定(タイトルは仮)

▼随想 京都学派の歴史哲学 小野寺功▼新版 大地の哲学 小野寺功▼仏教偏見の研究 岩松浅夫▼カントの人間思想 菅沢龍文▼新井興遠選集 コーダニエル編▼誕生と始まりの思想 出雲春明▼デカルトによる修練の哲学 津崎良典▼フイヒテ 伝 湯浅正彦他訳▼「仮面」としてのディオニソス 齋藤直樹▼現代のヒンドゥー・ナシヨナリスト・イデオロギーの分析 近藤光博▼デモクラシーと国家 宮原辰夫▼Contemporary His Plays 佐竹晶子▼「土佐日記」の言説研究 佐藤美弥子▼左伝の女たち 尾崎保子▼荒野へII 中井農▼アグリアスに魅せられて 大月和彦▼深田晋▼T.S. Eliot 山口敦子▼シヨ・オートン 矢島直子▼バーナード・シヨ 森川寿他▼「線」で読むディケンズ 松本靖彦▼ミルトン研究案内 ミルトン協会編▼漱石論集 斎藤恵子▼サムエル・ジョンソン 思想と文学 石井善洋▼アヴェルノ 江田孝臣訳▼我、アメリカノ敵ヲ発見セリ 鳥克也▼英語文化研究 日本英語文化学会▼ジャコモ・レオバルディ 古田耕史▼狐物語とその周辺 高名健文▼ロマン主義的感性論の現在 高橋優▼メタファーから読む樋口一葉 笹川洋子▼長唄の世界へようこそII 細谷朋子▼伝承で読み解く文化―藤倉恵子▼フエに暮らして 金尾有里子▼祇園祭 小谷野裕子▼随想 ことばへの気づき 松原好次▼「エリザベト」の旅 関根裕子▼17〜18世紀のポランド演劇史 谷山和夫訳▼ダ・ヴィンチ 田辺清▼盆栽 川崎仁美▼戦後日本の「コミュニティ・シアター」須川渡▼暮らしの日本語(スペイン語版) 長谷川哲子▼暗記嫌いのためのロジカル英語入門 佐藤美弥子▼言語教師の教育論 南浦涼介他訳▼日本とニュージランドの教育と社会的包摂 柿原豪▼キャリア教育 勝又恵理子▼野村芳兵衛の仲間つくりの教育思想 富沢美千子▼学校つくり 石井拓児▼自律のための教育学 大川洋▼雑刀と学校教育 井上アヤ子▼健康自然塾 川村協平▼「ノ多」の人間観・世界観に基づいたスピリチュアルケア 小西達也▼真正の評価 渡部竜也他訳▼教育の理念・歴史・思想 藤井基貴、中村美智太郎編著▼「ウェルフェア・リング」イステックス」とことばの教育 佐藤慎司他編▼大学の理念 豊崎光衛訳▼ジョン・デューイ 教育思想の再解釈 生澤繁樹▼哲学教育論 生澤繁樹▼教育人間学の再検討 宮嶋秀光▼アーベルの討論倫理学に関する教育学的研究 丸橋静香▼学問としてのダンスの歴史の変容 木場裕紀▼ラスキン・カレッジの一九七〇年代における労働者の学習 富永貴公▼心理臨床におけるセラピストの身体を通した共感 山田美穂▼現代中東政治学 末近浩太▼情報社会学のリ・デザイン 天野徹▼近代市民社会と宗教音楽 瀧尾文子▼黄金町の実践から見た風景 鈴木伸治、山野真悟▼インドの細密画 宮原辰夫▼エッセイ風都市社会学 古瀬雄▼イラン人は誰のことか 八尾師誠他訳▼韓国の地方民家 佐々木史郎▼コピーレート・ステークホルダー 豊田聡▼ストリップ

出版をお考えの方へ

清なお原稿をお待ちしています。お気軽にお問い合わせください。

春風接人

松本大洋の初期の傑作『鉄コン筋クリート』は、読んでいる最中、読み終わってからも、いろいろにイメージが浮かび、響きあい、都市を考えるとときにいつも参考になっている。対談のお相手・吉原直樹さんが訳されたジョン・アーリーの『未来像』の未来 未来の予測と創造の社会学』を読んだとき、行ったことのないドバイの高層ビルの屋上から、地上を見おろし、『鉄コン筋クリート』のクロトシロにならって宙に羽ばたく自分の姿を想像した。思うに、だれも都市から離れず、浮上したままで生きていくことはできない。しかし、都市を考えるには、いったん都市から離れて人間の姿を想像し、他方、地上を歩き移動する人間のありようを、学のレンズを外し自分のこととして見ていかなければならない。地上を歩き、また、空を飛ぶ。現実と虚構が織りなす都市の空間。フーコーは言う。「言語(ランゲージ)のうちにはひとつの象徴機能がある。けれども、バベルの災厄以後―わずかな例外を除いて―もはやそれを語そのもののうちに求めてはならぬ。それは、言語の存在そのもののうちに、言語と世界全体との全体的な関係のうちに、言語の空間と宇宙(コスモス)のさまざまな場所や象との交錯のうちに、求められなければならない。」(三)

春風新聞 第二十七号 二〇二二年四月三日発行 発行者:三浦衛 発行所:春風社 印刷:シナノ書籍印刷 レイアウト:矢萩多聞